

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2021-22 Vol.13

ガバナー月信 **最終**号



SERVE TO CHANGE LIVES



国際ロータリー 第2660地区

ガバナー **吉川 秀隆**

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2021-22 Vol.13 最終号

ガバナーメッセージ(1年を振り返って)	1
地区代表幹事を終えて	2
ガバナー補佐を終えて	3
2021-22年 地区財団活動資金(DDF) 配分報告	13
2022年 国際大会(ヒューストン)と大阪地区ナイト 報告	16
第14回 全国RYLA研究会 報告書	18
春のRYLAセミナー報告	21
学友会 春の総会 報告	23
地区ローターアクト 活動報告	25
2022年 国際ロータリー 規定審議会 報告会	26
2021-22年度 ロータリー賞 報告	28
「意義ある奉仕賞」受賞クラブおよび「奉仕部門賞」受賞者	29
ロータリー財団/米山奨学委員会	31
2021-22年度 ロータリー財団 年次基金 寄付状況	33
2021-22年度 ポリオ・プラス基金 寄付状況	34
2021-22年度 米山奨学会 寄付状況	35
2022年5・6月度 会員数報告	37
2021-22年 地区大会収支報告	39
2021-22年 国際ロータリー第2660地区 地区資金決算	40
「地区中期5ヶ年目標」総括	45

1年を振り返って

国際ロータリー第2660地区 ガバナー **吉川 秀隆**
(大阪RC)



皆様に支えられ、2021-22年度のガバナーの役割を無事終えることができました。

シェカール・メータRI会長の”Serve To Change Lives”というテーマが明解でしたので、私はあえて地区独自のスローガンを設けませんでした。メータRI会長にはガバナー就任前のPETSにオンラインで参加いただき(当時はRI会長エレクト)、テーマの真意を皆様と共有できたと感じています。

私の年度は、地区中期5ヶ年目標の最終年度であったため、その達成へと努めました。

詳細は別掲の「地区中期5ヶ年目標」総括に譲りますが、結果だけを見ますとなかなか厳しい内容だったと思います。特に2020年2月以降は新型コロナに悩まされ思うような奉仕活動ができなかったことは残念でなりません。

また、公式訪問では、新型コロナの影響でオンライン例会になり、実際に会員の皆様にお会いできなかったクラブや、休会で会長懇談会だけとなったクラブもありましたが、皆様の心温まるご対応で無事に務めを果たすことができました。地区大会は、感染対策をしっかりと行った上で、コンパクトに半日開催としました。結果、1,000名超のリアル参加、800名のオンライン参加をいただくことができました。

IMロータリーデーは、ここ2年開催できていませんでしたが、今年度は5つのIM組で開催をすることができました。コロナ禍の中、安心・安全な開催を目指し、各IMの皆様におかれましてはガバナー補佐を中心とし、オンラインやハイブリッドでの開催など創意工夫をして実施いただけましたこと、心より感謝申し上げます。特にIM4組では、IMロータリーデーをメータRI会長のイニシアティブとして開催が推奨されたロータリー奉仕デーとして開催いただけました。重ねてお礼申し上げます。

また、この1年は災害に見舞われた年度でもありました。7月の熱海豪雨、8月の佐賀・長崎豪雨、1月にはトンガ海底火山噴火と国内外で自然災害が多発しました。都度、地区内に支援金を募り、被災地を管轄する地区に届けました。

2月に発生したロシアによるウクライナ侵攻に関しては、R財団の災害救援基金に、地区災害支援積立金や未配分の地区財団活動資金に地区内クラブからの支援金を合わせて、約2千万円を支援しました。多くのクラブから寄せられた多額の支援金に、改めてロータリーの「奉仕の精神」を強く感じた次第です。

この秋には当地区にロータリーが誕生して100周年を迎えます。地区にとって節目の年である100周年に向けて無事バトンを渡せたことに安堵しています。

また、3年後の2025年には大阪・関西万博があります。大阪の中心にある当地区が万博に向けて果たすべき役割は大きくなることでしょう。

近年、世界では環境・国家情勢など大きな変化が起こっています。変化の渦中にあっては、信念をもって変化に沿った変革を行うことが重要です。ロータリーの信念は、未来永劫「奉仕の心」です。この信念を胸に未来を切り拓く時は、今ではないでしょうか。私は、「夢」という言葉が好きです。未来へ続くエネルギー源となるからです。国際ロータリー第2660地区のロータリアンの皆様が良き未来に向けて共通の夢を持ち実践することで、当地区が世界をリードしてゆく存在になることを期待しています。

最後にあらためて会員の皆様、ロータリーファミリーの皆様、関係各位に心より御礼申し上げます。1年間本当にありがとうございました。

地区代表幹事を終えて

地区代表幹事 **早嶋 茂**
(大阪RC)



地区代表幹事就任が内定したのは吉川DGNの頃でしたので、当然ながら新型コロナウイルスという言葉はどこにも出てこず、歴代のPDGの皆様や代表幹事の皆様から種々ご指導いただきながら、これまで通りの地区運営を行う前提で各種事業のスケジュール調整や実施会場の選定を行っていました。

吉川DGとはそのころから「ロータリーが各種メディアに大きく取り上げてもらう(=公共イメージの向上)ためには出来る限り規模の大きな事業をやりたいですね」、という話をしており、その一つがIMロータリーデーの集約開催でした。

残念ながら、新型コロナの感染が拡大する中で規模を大きくしてしまうと感染リスクが避けられない状況でしたので、例年通りIM組別での開催に切り替えました。集約開催が実現していればロータリーの認知度向上の一助になったのではないかと残念に思っています。

吉川DGEのころはもう新型コロナパンデミック一色で、簡DGや吉田地区代表幹事が地区行事のオンライン開催のため苦心している様子を拝見し、「もしかしたら吉川年度もこの状況を引きずることになるかもしれない」と覚悟しました。

それからは地区行事のあり方も「新型コロナ」の影響を受ける前提で物事を考えるようになりました。地区チーム研修セミナー、PETS、地区研修・協議会をオンラインのみでの集約開催としたこともその一環です。1日での集約開催としたことで、当日の段取りはあまり余裕がなかったところに、直前になってメータRI会長エレクトが日本のPETSにオンラインで参加するという一報が届いたときには驚きました。

メータRI会長エレクトが当地区のPETSに参加いただけること自体は大変ありがたく光栄に思ったのですが、当地区と開催日が同じだった全国6地区合同での意見交換会で、且つRI主導で行われるとのことでしたので、どこでどう時間調整を行うか苦労しました。

当日はメータRI会長エレクトの通訳音声流れないというハプニングを除けば、大きなトラブルもなく、無事終えることが出来ました。ここでの経験はオンライン併用の半日開催とした地区大会でも活かたと考えています。

地区代表幹事としての務めを何とか無事に果たすことができ、宮里DG年度の皆様にはバトンを渡すことができたと考えておりますが、この1年間、地区運営を何とかこなすことができたのは、当然ながら地区委員会の委員長を始め吉川DG年度の行事に携わって頂いた全ての皆さまのご尽力のお陰です。中でも常任幹事団を始めとする地区幹事団の皆さん、ガバナー事務所の皆さんには何かとお世話になりましたこと、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

ガバナー補佐を終えて

IM第1組 ガバナー補佐 **延原 健二**
(大阪大淀RC)



当初、補佐訪問は各クラブ2回を予定していました(1回目：2021年8月から11月、2回目：2022年2月から3月)。しかしながら、1回目の期間中には、コロナ第5波による「緊急事態措置」が、2回目の期間中には第6波による「まん延防止等重点措置」が発令されました。伴い、例会、協議会などを休会としたクラブも少なくはありませんでした。

その中でも、会長・幹事との懇談会やZOOMによる協議会を開催していただき、会員数の増減や奉仕や親睦活動の状況、地区への要望などをお聞きすることができました。いずれのクラブも、コロナ禍にもかかわらず、懸命に増強に励み、可能な奉仕活動を模索し、できる限りの親睦に努めておられました。補佐はクラブを支援するのが役割でしょうが、愛情と誇りをもって自クラブの近況を語り、コロナ禍でご自身が恵まれない状況下にあっても奉仕に努めるロータリアンの姿から逆に多くのことを学び勇気をいただきました。

3月に予定されていたIMロータリーデーは、ホストクラブと協議を重ねた結果、コロナ感染拡大を危惧し慎重を期して中止することといたしました。

会長・幹事会における最大の議案は、今後の補佐選出方法の確立でした。立候補制から再び輪番制に戻す腹案をもってはいましたが、そのためには、24-25年度、25-26年度の2年度の補佐擁立クラブを決める必要がありました。大阪そねぎRCと、大阪水都RCにご無理をお願いしたところ、ご快諾いただき擁立クラブをお引き受けくださいました。両クラブのお陰を持ちまして、第3回の会長・幹事会で、満場一致で補佐の選出方法を確立することができました。両クラブをはじめ、ご理解、ご協力をいただきました全クラブの会長・幹事の皆様方、有難うございました。

補佐の任務を終えるにあたり、暖かく礼儀正しく敬意をもって訪問を受け入れて下さったIM第1組の会員の方々には心より感謝いたしております。ご指導くださいました吉川ガバナー、早嶋代表幹事、補佐エレクト時代に多くのアドバイスをいただきました辻川直前ガバナー補佐、相談や情報交換などでたびたび勇気づけていただいた同期ガバナー補佐の皆様、準備頂きましたクラブの事務局の方々には御礼申し上げます。

最後になりましたが、任期中にご逝去されたIM第5組の東村ガバナー補佐、豊中RCの森本会長には心からご冥福をお祈り申し上げます。



ガバナー補佐を終えて

IM第2組 ガバナー補佐 **茶橋 和夫**
(摂津RC)



2020年6月5日ガバナー補佐エレクトの顔合わせ会議がガバナー事務所でスタートしてのあっという間の2年間でありました。新型コロナ感染拡大の中、ガバナー補佐の任務遂行にあたり、何かとご協力いただきました2組15クラブの会長、幹事、事務局員そしてメンバーの皆様にご心より御礼申し上げます。

まずはガバナー補佐の主な責務はガバナーのアシタントであり各クラブとガバナーとのパイプ役という立ち位置であり決してクラブを指導する立場ではないということ認識してRI会長、ガバナーの方針を各クラブに伝達するとともに各クラブの活性化に寄与することである。を肚に落とし込んでのスタートでした。

特にシェカール、メータ会長の講演での「奉仕とは自分がこの地上に占める空間に対して支払う家賃である、という信条を持つようになりました。模範的な借借人でありたいと思っております。皆さんも目の不自由な人に見る力を与え、お腹を空かせた人には食べ物を与え、ホームレスの人には住む場所を提供した方もおられるでしょう。これらは、小さな奉仕の機会だったかもしれませんし。大規模なプロジェクトだったかもしれません。奉仕を定義するのは、奉仕の規模だけでなく、奉仕に対する姿勢です。

奉仕するとき、誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かになります。インドの偉大な思想家の一人であるヴィヴェーカーナンダはこう言いました。「誰かを助けるとき、その人に恩を施していると考えないでください。実際には、その人たちがあなたに恩を施しているのです。私たちが世界から授かった恩恵への恩返しをする機会を与えてくれているのです」。ヴィヴェーカーナンダはさらに、次のような見事な言葉を加えました「人生では、与える者、奉仕する者、になりなさい。ただし、与えるときも奉仕するときも謙虚になり、ひざまずいて『与えさせていただけますか』『奉仕させていただけますか』とお願いする気持ちになりなさい」ほかの人のために生き、世話をし。奉仕することで誰かの人生を豊かにすることは、自分の人生の最高の生き方です。アルバートアインシュタインが言ったよう「誰かのために生きてこそ、人生には価値があるのである」のです。の言葉に共感し、感嘆いたしました。まさにこれがロータリーの奉仕の理念だと。

その理念のもと吉川ガバナーの方針の中で、特に会員増強と貧困児童への支援活動をお伝えいたしてまいりました。しかしながら期前半はコロナ感染感染拡大中でほとんどのクラブが例会を中止かオンラインでの開催でしたがほとんどのクラブが対面でのクラブ協議会を開催していただき、そのような状況でもいろいろ工夫を凝らした委員会活動を計画されていることにロータリー精神を感じました。

会員増強についてはこの状況下では増強どころか退会防止に重点を置いているクラブが大半で、あるクラブでは保険屋じゃあるまいし誰でもかんでも入れるはできない（保険を軽視しているつもりはありません）という意見があったり、退会してほしい会員を退会してもらうのに難儀しているという意見もありました。

また貧困児童への支援活動では子供食堂への支援を計画されているクラブも複数ありましたが自治体と共同でされているクラブはスムーズに活動が実施されていますが任意団体が運営されているところでは政治色

が絡んでいたりして活動の難しさを感じました。

その他国際奉仕では長年継続して特定の国の特定の団体に支援活動をされていることが多大な成果をあげていることも知りました。クラブ運営についてはこの時期故、CLPを導入して委員会の整理や、基本にSDGsの考え方を取入れたり、会員増強の手段として定款、細則の見直しや会員種別の増加等に取り組んでいるクラブもありました。このように他クラブの取り組みを紹介する事により、少しでもクラブの活性化に役立つべく努めてまいりましたが、はたして役立ったかな??

その他、吉川ガバナーの要望でありましたIMロータリーデーを高槻東RCの主管で茨木RCの応援をいただきながら対面併用のハイブリット形式で2組のRCの協力のもと開催できたことは感無量でありました。ありがとうございました。

またガバナー補佐を拝命するまで知らなかったのは私だけかも知りませんが、ガバナー補佐になったら補佐ノミニーを自分で探さなければならいという大役があることを、ここ何年かパストガバナー補佐の皆様がご苦労をされている事を聞くにつれ、これは何とかせにゃあかん、と思いつつコロナ感染拡大中に、何を考えてるんやと、お叱りの声もありましたが、2月の会長、幹事会を対面で開催いたし、皆様のご協力のおかげでガバナー補佐選出をルール化することが出来ました。これも感無量でありました。

コロナ感染拡大状況を睨みながらのクラブ運営にご苦労、ご尽力されました各クラブの会長、幹事様、またメンバーの皆様に敬意を表するとともに不十分なガバナー補佐茶橋に温かく接していただき、大役を全うさせていただいたことに心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



ガバナー補佐を終えて



IM第3組 ガバナー補佐 **森本 匡昭**
(大阪城北RC)

2021年7月に門真RC所属の藤田正明PAGの後任として、AGを担当させて頂きました。

2021年-22年度吉川秀隆Gは、RI重点施策の内 特に『教育の支援』を強く提唱されました。そして地区ビジョンにおいて、それぞれのRCが「魅力ある 元気ある 個性ある」クラブになる事を目指すこととされました。私もこの2つの事を各RCに伝えることに注力して参りました。

コロナ禍ではありましたが、以下の項目を実行できました。

1. 3月5日にIMロータリーデーを開催することが出来ました。
ホストクラブの守口RCの会長はじめ実行委員長・関係者の皆様ありがとうございました。
2. 対面方式での会長・幹事会「燦々会」を開催し、各RCとの交流、親睦を図ることが出来ました。
3. 23年-24年度のIM第3組AGを推薦・承認いただきました。

IM第3組の各RCの会長・幹事様そして会員のみなさまのご支援・ご協力を賜りました事、本当にありがとうございました。

毎回のRC訪問時、皆様方が温かく・親しく例会に招いて頂きました事は、忘れられない出来事として記憶に残る事と存じます。

最後に、吉川秀隆G・早嶋茂地区代表幹事・地区幹事団の皆様・G事務所の皆様、何より今年度AGとして出向させていただきました大阪城北RC木野会長・岩田幹事はじめ会員皆様に深甚なる謝意を表します。

一年間ありがとうございました。



ガバナー補佐を終えて

IM第4組 ガバナー補佐 **大谷 隆英**
(大阪柏原RC)



2年前の2020年7月にガバナー補佐エレクトに就任し2年間の職務をようやく終わることが出来ました。振り返るとあっという間に過ぎ去った気もしますが、無事に終わることができた安堵感からの感想だと思います。

2021-22年度もコロナ感染症に振り回された一年でした。これで収束したのかと楽観視していたら、さらに感染力を増した変異株が猛威を振るうというパターンが繰り返されました。その影響で9月頃から再開された通常例会も1月には見直しを迫られ、休会やZOOM例会、ハイブリッド例会といった対面では無い例会を選択せざるを得なくなりました。ロータリー活動への影響は大きく、対面での通常例会の大切さを思い知らされましたが、一方でZOOMを初めとするネット環境を最大限に利用し新しい例会運営を構築されたクラブも有り、次世代のロータリークラブを垣間見た気が致します。そして、どんな環境でも諦めないロータリアンの逞しさも感じる事が出来ました。

IM第4組は13のロータリークラブが所属しています。地域でいえば東大阪市、八尾市、柏原市の郊外都市9クラブと大阪市内中心部の4クラブで構成されています。私は第2660地区南東端部の柏原市にあるクラブに所属しメイキャップも殆どせずホームクラブ皆出席を目指して活動して参りました。良い意味で「井の中の蛙」でしたが、今回13クラブを巡回訪問する機会を得て感じたことは都市クラブと郊外クラブの2分化でした。奉仕活動に差違はありません。それぞれが地域に根ざした特徴ある活動をされています。しかし会員基盤の強化では郊外クラブの苦戦が顕著です。様々な要因が複合的に作用した結果の傾向なので簡単に解決策が見つかるとは思えませんが、都市クラブの標準的な運営形態を追うのでは無く、郊外都市の強みを生かした個性のあるクラブ運営を見つける必要があると痛感しております。

コロナ禍で翻弄された1年でしたがIM第4組では対面での会長幹事会2回と、IM第4組ロータリー奉仕デーをWeb配信で行うことが出来ました。IMロータリーデーは東大阪東RCさんのホストのもと青少年の国際交流について会議を開催致しました。コロナ禍で青少年交換プログラムは休止していますが、ZOOMを利用した日本、タイ、カンボジアの高校生の交流の様子を紹介してもらい、パネルディスカッションでは青少年交換プログラム経験者の実体験に基づく貴重なお話を伺いました。国や民族や宗教を超えた相互理解を深めることによって世界平和の実現を目指すロータリーの重要なプログラムのひとつです。理解を深める一助になれば幸いです。第1回の会長幹事会は吉川ガバナー、早嶋代表幹事にご参加頂き各クラブ会長に活動計画を発表して頂きました。残念ながらコロナ禍のためコーヒーとケーキの提供だけの会議形式での開催となりました。第2回は6月開催でコロナ感染症も治まりつつあった時期でしたので飲食を伴う会合を開催できました。年度最終盤でもあり会長幹事の親睦と慰労を主な目的とし、会長発表も活動報告以外の趣味や人生観についてお話し頂き、大いに盛り上がり楽しい時間を過ごすことが出来ました。

2年間で4回から5回各クラブを訪問させて頂きました。最初は大変緊張していましたが皆様に親しくお声

かけ頂きロータリーファミリーの素晴らしさを改めて感じました。それぞれのクラブの活発な活動内容が今頭の頭に混在しています。時間をかけて整理し今後のロータリー活動に活かしていきたいと思います。

最後になりますが、私がガバナー補佐の職務を全う出来たのは多くの皆様のご協力のおかげです。特にIM第4組13クラブの会長幹事様、各クラブ会員の皆様、ガバナー事務所の皆様、そしてホームクラブ事務局員には心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

大阪のロータリー 100周年を迎える宮里ガバナー年度のますますのご発展をお祈り申し上げます。



ガバナー補佐を終えて

IM第5組 ガバナー補佐 **柿本 円**
(大阪リバーサイドRC)



2021-22年度RI会長、インドのシェカール・メータ氏のRIテーマは Serve to Change Lives 「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」でした。我々がすべきことはもっと行動し、もっと成長すること (Do More Grow More)。我が第2660地区 吉川秀隆G (大阪RC) の地区テーマもそれに添ったもので、特に7重点施策のうち、「5.教育の支援に重点を置きたい」方針でした。そして今年度も昨年度同様コロナ禍でスタートし、アップダウンはあったもののwithコロナの中でのロータリー活動を余儀なくされた1年でした。

本来、吉川G年度のIM第5組は、東村高良DAG (大阪うつぼRC) のご担当でスタートされましたが、8月末に体調不良により辞任されることとなったため、昨年度DAGを務めておりました私が9月より再登板することとなりました。微力ではありますが11クラブのクラブ訪問・会長幹事会・IMロータリーデーの主催を代行させて頂きました。エレクト年度から数えると3年に渡り各クラブ様へご訪問することとなり恐縮しましたが、どのクラブ様も暖かいまなざしやご声援でお迎えくださり、却って私自身が励まされました。それぞれのクラブ理事・役員・メンバー様の日頃のロータリー活動へのたゆみない努力と、前向きな姿勢や人となりの良さを感じ入る、またとない機会となったと実感いたしております。

私が再担当させて頂いてからは大阪うつぼRCの7名の精鋭ロータリアンにサポートチームとしてしっかりとお支えいただき、3回の会長幹事会を無事に(うち1回はZoom)開催し、活発な意見交換やそれぞれのクラブに役に立つ情報交換ができたと思います。私を感じるころでは、特に各クラブ共通の悩みである会員増強について非常に参考になる発表があって、その後そのやり方をクラブに持ち帰り、会員増強に成功なさっているクラブも有ると報告を受けています。

また、IM第5組11クラブ合同PJとして、コロナ禍で生活や学業に困窮している在日外国人留学生と、コロナ禍で両親とも会いつらい中、病気と闘っている入院中の小さい子供たちへの支援を実行できました。

5月13日の「第4回現次合同会長幹事会」では対象となる2つの支援先へ吉川G、早嶋地区代表幹事ご臨席のもと贈呈式も行い、吉川Gの方針に添うと共に、次年度の奉仕活動への勢いにつながるバトンを小山DAGEに渡せたのではないかと考えています。

4月23日には3年ぶりにIMロータリーデーが大阪西北RCのホストにより「今、地球で起こっていることとその備え」というテーマで気象予報士の蓬萊大介さんを講師として大阪YMCAよりオールオンラインで開催されました。地球温暖化の現象や脱Co2、ひんぱんに起こる自然災害などは、地球人として真剣に考え取り組まないといけない一番身近な、そして最大の問題であります。このテーマを選び、開催実現に向け着手していただいた大阪西北RCの実行委員会の方々にリスペクトと感謝をしております。

2年連続の責務を全うできたのは途中で仲間入りをした私を優しく受け入れてくださった吉川Gはじめ、早嶋地区代表幹事とDAGの同期の5名の皆様がフラットな雰囲気を作り、そのお気遣いとガバナー事務所の

方々の笑顔のアシストによるものと有難く思っています。私には2年間拝命したことにより、同期のDAGが10名もいて下さることを嬉しく思います。そして何より後ろから支えて下さったホームクラブの全メンバーのお力と、大阪うつぼRCのメンバー様と事務局様のお力添えによるものだと、この場をお借りしてお礼を述べさせていただきますと思います。お陰さまでやり終えることができた今、完全燃焼を実感しています。

このように全力で駆け抜けた10ヵ月でした。ガバナー補佐の任務は担当するクラブが発展するように意欲を引出し支援する。具体的には

- ・クラブを定期的に訪問し、活動状況リソースについて話し合う
- ・目標の設定と達成、課題の解決、地区/RIの運営的要件の順守などにおいてクラブを支援する
- ・クラブ委員会と地区委員会との橋渡しとなる
- ・ガバナーにクラブの進捗状況を知らせる
- ・ロータリーの取組みについて常に最新情報を把握する

と、このように先ずクラブファーストであると理解しています。

この間、常に私の心の中には本来のご担当である東村さんであればこの重責をどのようになさっていたであろうか?ということでした。残念ながら5月8日に鬼籍に入ってしまったのですが、東村さんの最晩年に少しでもお役に立てる一人になれたのではないかな?と思っています。いつもにこやかに微笑まれて紳士でおられた東村さんの御霊の安らかならんことを、深く心からお祈りしています。合掌。



ガバナー補佐を終えて

IM第6組 ガバナー補佐 **吉村 昭**
(大阪平野RC)



2020年7月ガバナー補佐エレクトとしてスタートしガバナー補佐の2年間の任が終了しました。IM第6組11クラブの会長・幹事の皆様、1年間お疲れ様でした。

大阪平野ロータリークラブのメンバー・事務局の支えがあって何とか全うすることができました。ありがとうございました。

長引くコロナ禍で制約があった中、どのクラブも創意工夫しながらの例会運営・奉仕活動になりました。ガバナー補佐訪問も、それぞれの例会開催状況に応じて例会出席、少人数懇談、リモート会合となりましたが、各クラブの皆様の御陰で全クラブ訪問させていただきガバナー補佐としての目的が達成することができました。

吉川秀隆ガバナーからは、今年のIMロータリーデーは各IMガバナー補佐主催で開催するよう指示を受けました。コロナ禍で各IMがリアル開催を断念する中、IM6組は最後にあたっていましたので、コロナも一時収まっていた5月21日に四天王寺学園和光館にて行うことができました。

ホストクラブである大阪天王寺ロータリークラブは、当初からどのような状況でも開催できるよう準備を進めて下さっていましたので、開催有無には心配はしていませんでしたが、やはり各クラブの皆さんが会場に集まって開催できたことは、大変嬉しく思っています。

ロータリアンである私たちは、持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界というビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルーシブな文化を培うことが不可欠であると理解しています。

IMロータリーデーの第一部では、奥野史子氏による「スポーツから学ぶ、ダイバーシティ & インクルージョン」のテーマで講演をしていただきました。第二部では、「多様性社会の実現～つながりの中でどう生きるか～」というテーマで、MBS上田悦子アナウンサーがコーディネーターで、実に多様な5名でのパネルディスカッションを行なっていただきました。

中でも、印象的だったのは「全盲の世界を超ポジティブに生きる人」、浅井純子さんの明るさで、そのパワーに圧倒されました。

難しい状況の中、コロナ対策も含め万全の体制を整えて開催していただいた大阪天王寺ロータリークラブの皆様には、改めて感謝申し上げます。

六輪会(IM第6組の会長・幹事会)は4回行い、各クラブの会長・幹事さんからコロナ禍での活動内容やクラブの状況を報告いただきました。今年度はガバナー補佐選出方法についての話し合いの時間を多くとり、3年後のガバナー補佐選出クラブを年度最終の六輪会で決定すると決めさせていただきました。IM第6組11クラブの会長・幹事のご理解とご協力に感謝致します。

ガバナー補佐を務めさせていただき、私自身もたくさん学ぶことができ大変良い経験になりました。吉川秀隆ガバナー、早嶋茂代表幹事はじめ地区幹事団、ガバナー事務所の皆さん、同期AGに感謝申し上げます。ありがとうございました。



2021-22年 地区財団活動資金 (DDF) 配分報告

地区ロータリー財団委員会 委員長 **村橋 義晃**
(大阪中之島RC)

ロータリー財団の補助金プログラムに地区が参加する為に署名し提出する**地区の覚書 (MOU)**「第7項 補助金の使用に関する報告」のなかで **地区は、全ての地区財団活動資金 (DDF) の使用に関して、クラブに報告しなければならない**と定められています。つきましては2021-22年度の当地区DDF配分実績を下記にご報告申し上げます。

ウクライナ難民緊急支援を行うためポリオ基金寄付の例年寄贈額を減額し、送金時点での利用可能なDDFを緊急支援金に充当致しました。新型コロナ感染拡大の終息が見えない状況におかれるなか、財団補助金を活用して奉仕活動にご尽力下さいましたクラブの皆様にご心より感謝申し上げます。今後共、地区財団活動資金の公正かつ積極的な配分を実施し、財団補助金を奉仕活動に役立てて頂くためクラブのサポートに努めて参ります。

2021-22年度 第2660地区 DDF配分実績

収入 (US\$)		支出 (US\$)	
2018-19年次基金寄付の50%	324,890.08	ポリオ基金寄付	10,000.00
恒久基金寄付収益の50%	35,128.97	ロータリー平和センターへ寄付	10,000.00
2020-21年度からの繰越金	85,505.74	ウクライナ難民緊急支援	80,000.00
		地区補助金	179,354.00
		グローバル補助金	109,000.00
合計	445,524.79	合計	388,354.00
残高 (2022-23年度に繰越)			57,170.79

グローバル補助金のためのDDF配分実績

代表提唱クラブ (RC)	重点分野	実施国	補助金額 (US\$)
大阪大淀	地域社会の経済発展	カンボジア	5,000.00
豊中	疾病予防と治療	タイ	20,000.00
大阪アーバン	水と衛生	パキスタン	20,000.00
大阪心斎橋	疾病予防と治療	タイ	19,000.00
守口イブニング	疾病予防と治療	台湾	5,000.00
大阪中央	疾病予防と治療 (奨学生)	イギリス	40,000.00

地区補助金のためのDDF配分実績

クラブ	実施国	活動内容	補助金額(US\$)
交野	日本	中学校にWeb会議システム寄贈	5,505.00
茨木	インドネシア	図書館にモバイルライブラリ・書籍寄贈	5,964.00
大阪アーバン	日本	視覚障害者施設への作業用計測器寄贈	2,824.00
吹田西	日本	ジャンボ将棋大会の運営サポート・備品寄贈	3,766.00
大阪淀川	バングラデシュ	スラム地区のクリニックに医薬品寄贈	4,377.00
豊中	日本	インドネシア人留学生への奨学金	3,303.00
大阪南	日本	サッカー用品寄贈・プロによる養護施設児童の指導	5,505.00
摂津	日本	図書館に外国人労働者の日本語習得用図書寄贈	4,127.00
吹田	カンボジア	医療現場に小児患者用ベッド・医療機器寄贈	7,138.00
大阪城南	日本	外国人留学生への昼食補助	5,505.00
大阪西南	フィリピン	小学校にトイレ・洗面所建設	3,986.00
東大阪東	日本	地域住民への悩み相談室開催	4,588.00
くずは	日本	小学校に足踏み式消毒ポンプ寄贈	5,450.00
大阪北	タンザニア	実施国での全国野球ソフトボール大会開催支援	9,175.00
大阪柏原	日本	養護施設児童とのボーリング大会開催	2,081.00
大阪御堂筋本町	日本	分散した児童養護施設に家具寄贈	4,269.00
大阪大淀	カンボジア	現地楽団に大型楽器寄贈	4,640.00
豊中千里	日本	地域の恵まれない子ども達に食生活の支援	2,753.00
大東中央	日本	地域の歴史を冊子に纏め、学校や図書館等に寄贈	1,858.00
東大阪中央	日本	養護施設の児童を遊園地に招待	1,873.00
大阪堂島	ケニア	現地スラムの通学児童への奨学金支援	4,129.00
大阪心斎橋	フィリピン	現地の恵まれない小学生に食糧支援や学習教材寄贈	2,569.00
東大阪	日本	府内のラグビースクールにボール寄贈	1,973.00
大阪西	カンボジア	医療現場に薬品・医療機器寄贈	5,579.00
大阪難波	日本	こども食堂の食材・冷凍庫寄贈	2,635.00
池田	日本	コロナ禍の地域住民に野外映画鑑賞を提供	5,505.00
高槻東	日本	小中学校に環境教育用の機材・書籍寄贈	3,212.00
大阪東	日本	養護施設児童に学習発表会支援と教材寄贈	2,130.00
大阪中央	日本	治安悪化の原因である地域を美化し安全な街造り	4,542.00

クラブ	実施国	活動内容	補助金額(US\$)
門真	日本	地域の児童を招待しサイエンスショーを開催	2,755.00
箕面	日本	成人式会場にフォトスポット設置・色紙寄贈	2,340.00
八尾	日本	里子にプログラミング教育機材寄贈	5,505.00
大阪城東	日本	中学校吹奏楽部の活動・発表場所支援	3,670.00
RID2660	ポーランド	ポーランドに避難しているウクライナ難民医療支援	43,782.00

*新型コロナの影響等で一部活動を中止された場合、または為替レートの変動により地区補助金の支給額が\$2,000を下回る場合があります。

*ウクライナからポーランドに避難している母子への医療支援を行う“POLAND RC Wroclaw”に対し、援助国の地区として緊急支援を行うために地区補助金の臨時費を含む全残高を寄付致しました。

2022年 国際大会（ヒューストン）と大阪地区ナイト 報告

地区副代表幹事 **井戸 剛**
(大阪RC)

2021-22年度国際ロータリー国際大会が、2022年6月4日(出)~6月8日(休) アメリカ合衆国テキサス州ヒューストンにて開催されました。

6月4日には、吉川ガバナー主催の第2660地区大阪ナイトが開かれ、39名が参加。前回の開催が2018-19年度のハンブルク大会でしたので3年ぶりの開催となりました。参加人数は前回の2割程度と大幅に少なくなりましたが、「Brennan's Houston」というお店でアメリカ南部料理を楽しみました。

主賓には在ヒューストン日本国総領事館の村林弘文総領事夫妻と今回「ロータリー学友世界奉仕賞」を受賞した元2660地区の青少年交換留学生、アントニー・スロドコフスキー氏をパートナーと共に迎えすることができました。スロドコフスキー氏は現在、フィナンシャルタイムズの東京特派員ですが、ロイターのミャンマー支局長在任中にロヒンギャの取材で「ピューリッツァ賞」を受賞した、新進気鋭のジャーナリストです。

地区外からは辰野RI理事と佐藤RI理事エレクト夫妻にも参加いただき、アットホームな雰囲気の中、大変賑やかな夜となりました。

翌5日は、辰野RI理事主催の日本人朝食懇談会が開かれ日本国内から約200名が参加しました。メータRI会長、ジェニファー・ジョーンズRI会長エレクトも出席し、それぞれスピーチをされました。ジョーンズRI会長エレクトは今秋に来阪の予定です。

その後、朝食会に続いて、国際大会が開催されました。例年は参加者多数のため、午前と午後の2回に分けての開催ですが、今回はコロナの影響もあり参加者が少なく午前中の開催のみ。大会へのレジストレーションも、陰性証明かワクチンの接種証明がなければ登録出来ないという厳しい環境の受け付けでした。

大会終了後、大会推進コーディネーターからガバナー宛に届いたお礼状では世界153の国と地域から約11,000名の方々が参加したとありました。ハンブルク大会が27,000名弱の参加数であったことからコロナの影響が色濃く出た大会でした。

来年の国際大会は、オーストラリアのメルボルンにて2023年5月27-31日の開催の予定です。コロナも落ち着きたくさんの参加者が第2660地区から来られることを心から願っております。



第14回 全国RYLA研究会 報告書

Team RYLA 代表 池島詠美

日時：2022年5月21日(土)～ 22日(日)

場所：ホテルニューオータニ鳥取

●特別講演「なぜロータリーがRYLAを行うのか」

ロータリー財団管理委員 三木 明 氏

- ・未来の担い手を育てる←RYLAを通じて地域や世界で変化を生み出すために必要な知識・スキルを身に着ける。
 - ・クラブ・地区にとっても、RYLA参加者や学友の持つ新鮮な視点や考え方が得られる。
 - ・リーダーシップ理論と、自分に合ったリーダーシップスタイルの見つけ方…少人数での演習または参加型ワークショップを通じて、様々なリーダーシップスタイルを持つ参加者が、グループの中で自分の強みを生かせるようにする。←リーダーシップ理論を学ぶ必要性。
 - ・倫理的リーダーシップ=敬意、奉仕、コミュニティ、正義、誠実さなど…
 - ・プログラム例) 各演習にて違うリーダーを選ぶ、参加者がそれぞれ選んだトピックについて、自分の意見を述べる時間を作るなど、コミュニケーションスキルの向上を意識した研修作り
 - ・参加者からの意見・感想を募り分析を加える。学友の意見を吸い上げる。RYLAで学び、今も実践していることは何か？
 - ・目標の設定。常に参加者の意欲を引き出す仕組みを考える。
 - ・カウンセラー…チームの監督、各プログラムのサポート
 - ・振り返り…参加者の満足度。参加者の知識・行動・能力の変化を測る。
 - ・ロータリーの奉仕の在り方：何かを求めるのではなく、ただひたすらに種を蒔く(未来に夢を託す)→どのように成長するかは受講生次第。地域(世界)のために何が出来るかを気づかせる役割。
 - ・思索の時間。自分を見つめなおす時間。功利を追い求めるのではなく、どこかの誰かのために私たちに出来ることはないかと優しい気持ちが沸き上がり、自分をじっと見直す時間を与えられ、素晴らしい仲間と出会う機会を持つことができる。
- ★今後はRIJYEMに各地区のRYLAの情報を集約できるよう構想中。

●基調講演「RYLAの根底にある思想」

RIJYEM研修部門委員 黒田建一 氏

- ・RYLAの目的=出会い。自己との出会い(自己理解)、他者との出会い(他者理解)、自他との出会い(自己理解、他者理解を積み重ねることにより、深く親密な関係を体験する)
- ・エンカウンターグループ(EG)=自己理解や他者理解を深めるとい個人の心理的成長を目的として、1～2人のファシリテーターと10人前後のメンバーが、集中的な時間の中で、各人が自発的・創造的に相互作用を重ねつつ、安全・信頼の雰囲気を形成し、そこで起こる関係を体験しながら、率直に語り合い、聴きあうことを中心に展開するグループ経験。

- ・EGの発展段階=当惑→目的模索→フラストレーション→相互信頼→親密→深い相互関係と自己直面
- ・ファシリテーターの役割…グループ全体を見る、グループへの所属感を保証する、攻撃された人を守る、メンバー一人ひとりのペースを守る、プロセスの展開に応じた柔軟な対応、グループを無理に進めない
- ・RYLAセミナー開催の目的と手法：何を目的としてセミナーを開催するのか（少なくとも技術取得を目的とはしていない）、その目的はRYLAでなくては達成できないのか、スタッフは目的を共有しているのか、手法（プログラム）は目的と整合しているか、手法（プログラム）がスタッフの能力を超えていないか、セミナーの成果（反省点）は蓄積されているか、RYLAにおけるものであることを強く認識する必要がある

●分科会「RYLAにおけるカウンセラーシステム」

ファシリテーター：RI第2680ガバナーノミニー 安行英文 氏

- ・カウンセラー=「促進者」「状況の中の人」。
- ・カウンセラーの役割=動機付け、支援、メンバーの力を集める、メンバーの自己肯定感を高める、メンバーが自分自身や他のメンバーの人たちのために発言する可能性を高める、自立を促す、メンバー自身の価値を認めてあげる、全員に発言の機会を与える、不安と期待を分かってあげる、プロセスを作る、メンバー同士を繋いであげる、少数派に配慮、体験の共有
- ・関わりすぎないことが大事。規則を課すことはしない。表現等を劇的にしない（ほどほどに…）
- ・カウンセラーの「カウンセラー（スーパーバイザー）」を立てる
- ・カウンセラーには「受講生と共に学びあえる人」を選ぶ。

●バズセッション「RYLAセミナーではどのような人物像を作ろうとしているか」

- ・愛情・思いやりを下地にしたリーダーシップ
- ・全体を見渡せる人、高潔性を持った人
- ・自分をさらけ出すようなセミナーを行いたい
- ・全員が同じで人物像になる必要はない。「来て良かった!」と言ってもらえるようにしたい。
- ・受講生と一緒にいることで、ロータリアンも勉強になる。
他の班の発表→他人を思い、他人に尽くす人。奉仕の心の芽生え。何かを求めるのではなく、受講生を信じる。自分で考え、決め、動ける人。RYLAの経験を地域社会で発揮してもらいたい。

●分科会発表に基づくフォーラム「RYLAセミナーとは」「RYLAセミナーの成果としての学友会活動」

黒田建一氏 (RIJYEM研修部門委員)

田中賢一氏 (RI第2680地区RYLA委員長)

阪本龍太郎氏 (RYLA学友会会長)

- ・学友会は「リーダーのリーダー」を追求する場
- ・学友会の活動=RYLAセミナーのサポート、総会、研鑽の場「困む会 (RYLA運営に関わる人を招いての講演)」「学友キャラバン (受講生の職場に研修に行く)」「RYLAキャラバン (講師の職場に研修に行く)」
- ・スーパーバイザー=先の先を見る力が備わっている。RYLAセミナーの先を見通す。
- ・ロータリアンはどうあるべきか=見られている自分を意識する。模範となるべき。
- ・倫理性が課題
- ・学友としての将来性=不可能 (だと思われている) なことにチャレンジしていく。理想を現実近づける。(平和キャンプへの一步一步)。
- ・第2680地区のカウンセラーは受講生のプロフィールを全部覚えて臨む←受講生への思いやり

所感：

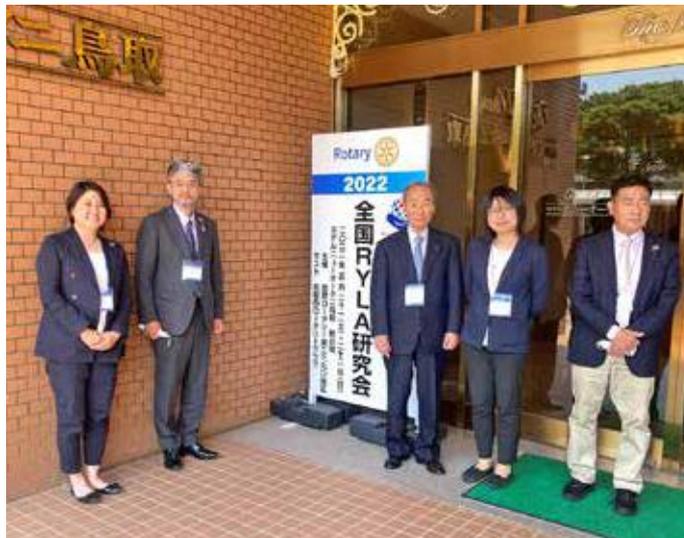
講演は、初めてRYLAに関わる人・RYLAセミナーをほとんど開催していない地区向けの内容が多かったが、「RYLAを開催する意義」を改めて考えるきっかけとなったことは良かった。

当地区で採用している、ロータリーパパママ（カウンセラー制度）、Team RYLA（学友の活用）などはRYLAセミナーにおいて非常に有効であると再認識できた。

「RYLAは種を蒔く（何かを求めるのではなく、未来に期待する）作業」という言葉が印象に残った。分科会でもそのような意見が上がり、ロータリアンの青少年に対する姿勢を改めて認識することとなった。プログラムを考えるにあたって、目先の効果ばかりを気にしがちだが、長期的な視点を持ってプログラム運営を行いたい。

全国RYLA研究会の一番の目的は他地区との情報共有である。RIJYEMにRYLAセミナーの事務連絡機能を取り付け、各地区の情報共有の場ができたことは喜ばしいことであり、今後活用していきたい。

次回（第15回）：2023年5月20日(土)～21日(日) 場所：札幌市



春のRYLAセミナー 報告

RYLA委員会 委員長 **田原さおり**
(東大阪東RC)

2021-22年度「春のRYLAセミナー」が、去るGW5月3日、4日、5日の3日間に渡り、大阪西RC主幹にて開催されました。テーマを「気づきから起こす行動力」とし、大阪府立青少年海洋センターにて18歳から30歳までの青少年40名が受講しました。

1日目は、NHK教育テレビ『つくってあそぼ』で23年間に渡り活躍された、ワクワクさんこと久保田雅人氏を講師に迎え、当時のエピソードや撮影裏話などを楽しくお話頂きました。工作のデモンストレーションや、ゴミ袋で作った風船の会場内リレーバトルでは、受講生だけでなくロータリアンも夢中で参加しました。基調講演のテーマである「わくわくしている生き方」の通り、参加者一同わくわくした時間を共有しました。

午後からは山内康俊実行委員長が、ロータリークラブがどのような精神に基づき奉仕を行っている団体かを、受講生達に非常にわかりやすく講義されました。まだまだ未熟なロータリアンである私自身も、新たなロータリーの魅力を感じることができました、素晴らしい内容でした。

夕食前と夕食後には今回の春のRYLAセミナーにコーディネーターとして協力頂いた、特定非営利活動法人NACの赤木先生によるワークショップが行われました。受講生達は個からチームへと徐々に変化していき、その手法は会社経営者でもある私達ロータリアンも、大きな学びとなりました。

2日目は、マリンプログラムです。カッターレースとカヌー体験をしました。1日目で既に距離が縮まってきた受講生でしたが、オールを使うマリンスポーツは更に互いの呼吸を合わせることが必要です。また、受講生の中には海に面していない国出身の米山奨学生もおり、カヌー体験では海面との近さに驚いたようです。それぞれが、様々な気持ちで取り組んだ時間となりました。

午後からはTeamRYLAによる「不滅の雷羅」です。貿易ゲームをベースにオリジナルで創作したゲーム感覚のグループワークです。ですが、受講生達は、作り手側の予測を超える工夫を凝らし、その対応に追われる結果となったTeamRYLAでした。ですが、彼らは成功よりも得難い「経験」を得、今後の課題も得ました。TeamRYLAは常に成長し進化していく組織なのです。

夕食は屋外の自炊場にて「華麗なるカレーコンテスト」が開催されました。同じ材料で作っていても、火の通し方、野菜の切り方等で味が変わります。今回はチームワークや盛り付けも審査対象でした。審査員として参加させて頂きましたが、どの班も皆一生懸命調理しており、点数を付けるのが非常に心苦しかったです。ですが、優勝した班のカレーは本当に美味しかったです。

これまでご紹介させて頂いたプログラムですが、全てロータリーパパと呼ばれるホストクラブである大阪西RCの会員が受講生と共に参加されていました。ロータリーパパは2660地区のRYLA独自の役割で、受講生と共に行動し、共に悩み、共に喜び楽しめます。2日目の夜は、そんなロータリーパパとの熱いフリートークの時間です。RYLAセミナーはこの「ロータリーパパとの座談会」の時間に最高潮を迎えます。個からチームへ。そしてチームからファミリーとなる瞬間と言っても過言ではありません。

そして最終日のグループ発表へと繋がっていきます。

今回の春のRYLAセミナーは、通常1年前から準備を始めるところ、コロナ第6波の影響で、準備開始時期が大幅に遅れました。緊急事態宣言と共に新年度が始まり、対面での例会や奉仕活動が難しい状態が続きました。春のRYLAセミナーは開催地の特性とプログラム内容から対面でのみの開催予定で、決行か中止かの狭間

で、上田茂久会長は非常に悩ましい決断の連続であったと思います。

ですが、本格的に準備が始まった半年前から本番当日まで、ホストクラブ実行委員会の皆さんは正に全力投球で臨まれ、素晴らしいRYLAセミナーとなりました。上田会長の下、大阪西RC会員の皆さんが、個からチームへ、そしてファミリーへと変化していく様子を隣で拝見させて頂きました。やはり、RYLAセミナーは「青少年のために」ではなく「青少年と共に」ホストクラブをはじめ、私達ロータリアンが最大の受益者になり得る奉仕事業であると、確信しました。

最後になりましたが、春のRYLAセミナーに参加下さった受講生とロータリアンの皆様、ホストクラブ大阪西RCの皆様、特定非営利活動法人NACの赤木先生とスタッフの方々、そして地区RYLA委員会委員の皆様、全ての方々に心より感謝申し上げます。

次回、秋のRYLAセミナーは茨木RC主幹にて、9月23～25日の3日間、パナソニックリゾート大阪（吹田市）で開催される予定です。受講生の推薦とロータリアンの参加にご協力お願い申し上げます。



学友会 春の総会 報告

学友委員会 委員長 瓦谷 勝
(大阪西南RC)

日時：令和4年5月21日(土) 16:00 ~ 20:00

会場：YOLO BASE (新今宮)

2021-22年度の地区学友会の春の総会及び本年度の事業についてご報告いたします。

今回は、米山学友の交流会とコラボし大勢の米山奨学生もご参加いただいています。

コロナ禍もようやく収まりつつありますがまだ気が抜けない状況ですが、やっとリアルでの開催をすることができました。今回は、ZOOMでも配信するハイブリッドでの開催となりました。コロナでよかったなあと思うのは、このような配信が日常で行われることに皆さんが順応されたことです。学友会も5年目になりこれからは変革していく段階だと思います。2年前に、ここYOLOBASEで財団出身のFM COCOLOの野村正雄さんに講演をいただきYouTubeでの配信とリアルとのハイブリッドで開催いたしました。

本年度は、秋にイベントを開催いたしました。ローターアクトのOBの浜田さんが、起業したクラフトビールの会社にスポットを当て京都の与謝野町からZoomで配信しました。

今回は、ロータリー学友ではありませんが、株式会社スプリーブホールディングス執行役員の橋本様にご講演を賜りました。なぜ、橋本様にお願いしたのかといいますと学友が興味のある話題を提供していただけからです。スプリーブホールディングスではTikTok、YouTubeなどのSNSのコンテンツを活用したプロモーションを手掛けており、またそれ以外にも人材派遣、シャンプーのネット販売で全国1になり、最近では、メタバース、仮想空間の運営にも力を入れているとの事でした。学友だけでなくロータリアンの皆様も興味を持たれたと思います。講演後に学友とロータリアン一緒に交流会を各部門に分かれ開きました。ZOOMでも参加いただき新しい形の交流となりました。

戦後日本は、技術力とモノづくりで世界第2の経済大国となりましたが、その後ソフト開発で世界に遅れをとりアメリカ、中国に負けているというのが現実です。

未来を担う若い人たちがこれからの日本を再び復活を遂げることを期待します。

また、学友会の活動を通じてロータリアン、ロータリー学友が、横のつながりを持ち交流しロータリーで培ったロータリーの奉仕の精神を忘れないでください。

春の学友会にご参加いただいた皆様、最後までご視聴いただき有難うございました。次年度につながる事業を開催できたと思います。

学友会、学友委員会、また事業に携わったすべての皆様に感謝申し上げます。素晴らしいメンバーに恵まれとても楽しい1年でした。



地区ローターアクト 活動報告

ローターアクト 代表 **重留里咲**
(大阪中央RAC)

ローターアクト 地区広報委員長 **岡本千代恵**
(大阪西南RAC)

地区年次大会

日時：2022年5月29日(日) 場所：ホテルグランヴィア大阪 参加人数：266名
ホストクラブ：大阪中央ローターアクトクラブ

5月26日に第2660地区ローターアクト(以下、RAC)の地区年次大会が開催されました。本大会第一部では当地区26クラブ及び地区行事に関する活動報告、メインプログラム、地区表彰、本大会第二部では今年度30歳を迎えて卒業する会員によるスピーチを行いました。

メインプログラムでは今年度の活動の軸となった「全国一斉献血」の報告に伴い、蕁東ゾーン代理(寝屋川RAC)が日本赤十字社職員として働く日々のなかで患者さんから届く声を紹介したほか、19歳でがん・白血病を患いながらもSNSを駆使して闘病の様子を発信し続けた山口雄也さんが遺した動画(日本赤十字社HPにて掲載)を視聴しました。胸を打たれる内容に、多くの参加者が献血の重要性を心に刻んだことかと思えます。

また注目の地区表彰は大阪西南RACが最優秀クラブ賞を受賞し、3年ぶりの王座奪還となりました。新型コロナウイルス等によりクラブ運営が難しいなか、大阪西南RACでは所属会員の大多数となる10名が年間の例会を皆勤し、その功績に拍手が巻き起こりました。

久しぶりに200名を超える会員が一堂に会した地区年次大会。盛会のうちに惜しまれながら幕を閉じました。開催するにあたりご尽力いただいた皆様に感謝申し上げます。



全国一斉献血

昨秋より当地区が主導となり、各友好地区で啓発活動を実施した「全国一斉献血」は採血者数1551名を記録しました(2022年5月時点)。全国を巻き込んだ取り組みは「ロータリーの友」にも大々的に取り上げていただき、多くの方々にご協力いただきました。

献血は人と人との助け合いです。医療の発達した現在においても血液は人工的に作ることはできません。今後も当地区では年に2回の地区献血を継続していきますので、温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

大阪北梅田RAC設立

5月13日に大阪北梅田RACの結成認定状伝達式が行われ、岸本会長含む12名のチャーターメンバーが当地区に仲間入りしました。当日は吉川ガバナーをはじめ多くのロータリアンや、RACを含むロータリープログラムの会員、プログラム経験者の学友の方が祝福に訪れました。

当地区としては2021年4月に設立された大阪難波RAC、大阪ユニバーサルシティ RACに次ぎ、26クラブ目の誕生となります。ようこそ、大阪北梅田RAC！

2022年 国際ロータリー 規定審議会 報告会

規定・決議審議会 幹事 **樋口 信治**
(大阪RC)

2022年4月10日(日)～14日(木)にシカゴ会場とオンラインによって開催された「2022年国際ロータリー規定審議会」でどのような言寸議が行われ、2022年7月以降のロータリー活動において、どのような変化があるのか、そして2022年決議審議会への決議案上程から、2025年規定審議会への対応について、クラブ及び地区関係者の方々に報告するため、表記報告会が245名の参加を得て開催されました。

開催日時：2022年6月25日(土) 午後3時～5時

開催場所：大阪YMCA会館大ホール及びオンラインによるハイブリッド開催

参加：クラブ→会場 31名、オンライン166名 地区→会場30名、オンライン18名

●立野純三 2019-22年度地区審議会代表議員による規定審議会報告

立野地区審議会代表議員からは、開催概要、採択及び否決された主要な制定案、ロータリー未来形成(SRF)に関する討議など、詳細について報告が行われました。内容は地区ホームページの「規定審議会報告会」資料を参照ください。

今回の規定審議会はコロナ禍の下、ハイブリッド方式で開催され、会場参加324名(日本からは9名)オンライン参加198名(日本からは25名)で行われました。

日本からのオンライン参加者は、シカゴとの時差のため、連日夜の23時から翌朝8時という変則的な時間での参加を強いられ、当地区からは3件の制定案を上程しており、議案説明もあり、立野代表議員は他地区代表議員以上に眠気と闘いながら、言寸議に参加され、オンライン参加者には発言の機会を妨げられ、不平等があったとの一部議員からの指摘があるが、議長は限られた時間内で必要な討議が行われるように努力されたと報告されました。

結果的に全体の制定案採択率が30.8%、日本からの制定案採択率が26.9%であり、当地区上程の制定案3件は否決されました。このことを活かして、ロータリーに対して、ポジティブで現実的な提案を、当地区としては上程し続けることが大切であると報告されました。

「ロータリー未来形成(SFR)」について、会員減少・若い会員や女性会員が増えない・リーダーの負担増といったロータリーが直面する問題を解決するため、英国とアイルランドの地域(RIBI)及びオーストラリアと太平洋諸島の地域の2か所で、地域に根差し、簡素化され、かつ複数年化を念頭に置いた、新たな運営方法を向こう6年間、クラブ管理の試験的プロジェクトとして施行されることになったが、この試験的プロジェクトで行われる変革が他地域に即導入されるものではなく、効果的な運営手段と判断されたものは、RI理事会及び規定審議会の討議にかけられて、対応することになっているといった報告が成されました。

●松本進也 地区規定・決議審議会副委員長によるクラブ細則等の説明

クラブ運営に係る規定変更としては、主に標準ロータリークラブ定款の改定が影響を受けることとなります。今回の規定審議会では24件の制定案が上程され、採択された制定案は5件となり、クラブ運営に関する下記の変更点について説明が行われました。

- 会員身分にDEI (多様性・公平さ・インクルージョン) を強調する規定が加わる。
- クラブ理事会議事録を30日以内に会員に提供するようになる。
- 正会員がどのクラブに対しても入会候補者を推薦できるようにする。
- 人頭分担金が23-24年度(年75ドル)24-25年度(78.5ドル)25-26年度(82ドル)に改定。
- ローターアクターがロータリークラブ例会にビジター出席できるようにする。
- 規定に該当する場合、出席規定免除申し出に対する理事会承認を不要とする。
- 一つの衛星クラブ会員を複数のクラブ会員が推薦できるようにする。
- 社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕に「積極的平和」を目指すことが規定される。
- ガバナーへの出席報告提出義務が撤廃される。

● 樋口信治 地区規定・決議審議会幹事による22年決議審議会ほかスケジュールの説明

今年の決議審議会に地区から上程が予定されている6件の決議案に対する、クラブ郵便投票結果が報告され、全て過半数を超える賛成を得ており、6月末までにRIへ上程されることや、その後の決議案採択までのスケジュールが報告され、次年度の決議審議会決議案募集スケジュールおよび、2025年規定審議会への対応スケジュールが報告されました。

● 下條泰利 次年度代表議員による出席報告及び100周年記念事業の説明

規定審議会で採択された「ガバナーへの出席報告提出義務撤廃」を受け、当地区としてもクラブからの月次出席報告は行われなくなり、但し、このことは例会出席を軽んじているものではなく、クラブとしては記録を取り、例会出席の向上やあるべきメイクアップの在り方について対応頂きたいとの報告が成されました。また100周年記念事業として地区ホームページ上で繰り広げられる情報集約への積極的参加が依頼されました。



2021-22年度 ロータリー賞 報告

公共イメージ向上委員会 委員長 **中谷 庄司朗**
(大阪北RC)

第2660地区54クラブ(下記の表を参照)が2021-22年度ロータリー賞受賞確定となりました。

ご理解とご協力頂いたクラブ会長とガバナー補佐の皆様に改めて感謝申し上げます。

課題となる活動項目は25項目、会員増強、持続可能なプロジェクトの立案、ロータリー財団への寄付、地域社会でのロータリーの認識向上などが含まれますが、自クラブの実情に応じて目標設定を行い、13以上の項目を達成したクラブに対してRI会長による表彰状が送られます。

クラブの活動をMy ROTARYにある「ロータリークラブ・セントラル」に記録し、年度別の活動推移や、他クラブと比較を確認することで、クラブ活動の活性化に繋がると思います。

今後も、全クラブに「ロータリークラブ・セントラル」を活用するメリットを感じて頂き、地区出向者にはそれぞれの立場で、データベースを活用したクラブ支援を推進していただきたく考えております。

IM	クラブ	IM	クラブ	IM	クラブ
IM 1	池田くれは	IM 3	大東	IM 5	大阪堂島
	箕面		大東中央		大阪フレンド
	箕面千里中央		枚方		大阪西北
	大阪北梅田		門真		大阪リバーサイド
	大阪北		交野		大阪船場
	大阪大淀		香里園		大阪心斎橋
	大阪梅田		くずは		大阪西南
	豊中		守口		大阪ユニバーサルシティ
	豊中南		寝屋川		大阪アーバン
			大阪東		大阪うつぼ
IM 2	茨木	IM 4	大阪城北	大阪西	
	茨木東		東大阪	大阪	
	茨木西		大阪柏原	大阪イブニング	
	大阪東淀ちゃやまち	大阪南	大阪平野		
	摂津		大阪城南		
	新大阪		大阪中之島		
	吹田		大阪東南		
	吹田江坂		大阪天満橋		
	吹田西		大阪天王寺		
	高槻		大阪帝塚山		
高槻東					

「意義ある奉仕賞」受賞クラブおよび 「奉仕部門賞」受賞者

2021-22年度意義ある奉仕賞 委員長 簡 仁一
直前ガバナー (茨木RC)

2018-19年度より、従来の「意義ある業績賞」は「意義ある奉仕賞」と名称が改められ、申請要件や方法が新しくなりました。「意義ある奉仕賞」は、クラブが地域社会の重要な問題やニーズを満たす為に実施した奉仕活動が対象となりました。

また、奉仕部門賞は、ロータリーの五大奉仕部門におけるロータリアンまたはローターアクターの功績を表彰するものです。奉仕部門はクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の5つで、一人の会員を複数の奉仕部門に推薦することが可能です。

2021-22年度は、意義ある奉仕賞は下記の16クラブ、奉仕部門賞は箕面千里中央RCから推薦がありました北岡 樹会員、大阪中之島RCから推薦がありました上瀬 匠会員が受賞されました。受賞されましたクラブの皆様、おめでとうございます。尚、受賞クラブは2022-23年度地区大会において表彰される予定です。

2021-22年度 意義ある奉仕賞 受賞プロジェクト

	クラブ	プロジェクト名	概要
I M 第 1 組	池田くれは	池田くれは ジュニアパラスポーツ祭	障害のある人もそうでない人も、同じ社会の中で理解しあい、協力して暮らしていけるように、地域の子供たちに、障がい者とのスポーツ交流を体験して理解を深めてもらうプロジェクト。
	箕面	箕面市成人祭に フотスポットの設置	様々な場面で利用できるフオトスポットを設置し、市民の笑顔と共に箕面ロータリークラブの名前が写真に残ることで、長期にわたりロータリークラブの公共イメージの向上と若い世代へのアピールに努めた。
	箕面千里中央	チャリティーコンサート	自動車事故で家族を亡くした子供たちの支援を目的としたチャリティーコンサートを豊中市立文化芸術センターの中ホールにて実施。
	大阪北	障がい者活躍支援 プロジェクト	知的障がいを中心とした障がいのある人たちを積極的に雇用しているレストランでスタッフ訓練に参加し現状を体感。スタッフが必要な調理道具を選定し寄贈。
	大阪北梅田	よろず相談会	大阪市北区役所と一般社団法人あおぞら湯と共催で、市民の悩みを聞く相談窓口となる【よろず相談会】を実施。地域のニーズに応え、無料法律相談・無料税務相談を行った。
	豊中	子供食堂を通じて創る 新たなコミュニティーの場	既存の子供食堂を利用して、貧困家庭の子供たちだけではなく、社会の中で孤立化している人々を地域のコミュニティーの中に招き入れる場所とするプロジェクト。
I M 第 2 組	吹田西	毎月1日はクリーンデー	江坂駅周辺の清掃活動を「毎月1日はクリーンデー」と称し、1991年11月1日に始めた活動は、地域の他団体や企業・店舗の経営者や従業員にまで周知され、ゴミのない街づくりから、放置自転車の撤去や駅周辺の自転車置き場の整理にまで発展している。
	摂津	図書寄贈プロジェクト	地域に在住する外国人労働者とその家族が日本に馴染めるように日本語の習得を支援するプロジェクト。

	クラブ	プロジェクト名	概要
I M 2	高槻	いのちキラキラ食裁活動	食材としての野菜を、園児と親御さんとで毎日水を与え、手を添えて育て上げ、「いのち」の大切さを味わい、自然と親しみ、環境や人とかかわる体験をしていただくプロジェクト。
	高槻東	未来へ！ 子ども達が創る美しい高槻	通常の学校生活や課外活動が制限される中、高槻市内小中学校における環境教育で使用する教材（書籍・機械器具等）を寄贈し、学習環境の充実を図る。
I M 3	くずは	少年野球を通じて 子ども達を笑顔に	コロナ禍で規制された生活が続く子供たちのために小学4年生以下の児童を対象とした軟式野球ジュニア大会を企画。スポーツ(野球)を通じて、青少年の健全な育成、遊び場を提供。
	大阪城東	頑張っている 中学生吹奏楽部を応援	コロナ禍で機会を奪われている吹奏楽部の学生が成果を発表できる場を作るためコンサートを企画。40社近くの企業にご協賛いただき、いずみホールもほぼ満席状態での開催となった。
	大阪東	養護施設の子供達の支援	大阪市内にある特定非営利活動法人「子どもデザイン教室」を支援し、子どもたちの創作した作品の発表会やクリスマス会を実施。
I M 4	八尾	里子達の持続的成長を 促すプロジェクト	里子達の将来につながる持続的成長を促すプロジェクトとして、ふたば里親会の里子達にプログラミング教育機材「アーテックロボ2.0」39台を寄贈。
I M 5	大阪堂島	盲導犬育成事業支援活動	盲導犬育成事業支援の一環として、会員、会員家族、及び地元野球チームの子供たちと一緒に大阪なんば高島屋前にて募金活動を実施。子供たちの奉仕の精神を育むことも目的とした。
	大阪西南	チャイルド・ケモ・ハウス 支援	小児がんをはじめとした医療的ケアが必要な子ども・若年成人と家族のための施設であるチャイルド・ケモ・ハウスに要望のあった部屋置き用の炊飯器を17台寄贈。

2021-22年度 奉仕部門賞 受賞者

	クラブ	氏名	概要
I M 1	箕面千里中央	北岡 樹 (職業奉仕)	<ol style="list-style-type: none"> 1. シャンソン歌手としての能力と人脈を駆使して、交通遺児支援のチャリティーコンサートを成功させた。 2. 2022年4月8日(金)15~18、豊中市立文化芸術センターの中ホールにて、趣旨に賛同して下さった出演者(司会・20人の歌手・2人のバンド)のご協力のもとに242名の観客を集め、3500円のチケット売り上げと、会場における募金活動で、大阪交通災害遺族会に100万円の寄付をした。 3. 箕面千里中央ロータリークラブの全会員が、北岡会員の企画に賛同し、一致協力して、チケットの販売や当日の受付に従事した。
I M 6	大阪中之島	上瀬 匠 (社会奉仕)	<p>社会奉仕委員長として、コロナ禍で奉仕活動に多くの制限がある中、今年度、「三件の社会奉仕事業」を実施。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 奈良県の知的障害者施設「成美学寮」へ、餅つき用のお米等の支援金と必要としているタオルの贈呈 ② 大阪府医師会へ医療用マスク120,960枚の贈呈を実施 ③ 「にしなり☆こども食堂」へのクラウドファンディング型の支援

ロータリー財団／米山奨学委員会

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはポール・ハリス・フェローです。(2022年5・6月 ※7月2日 MyROTARYレポート確認時点)

氏名	クラブ名
尾崎 夏樹	箕面
前川 正敏	守口
江本 出夫	大阪中央

氏名	クラブ名
山本 晃道	大阪北梅田
井上 健	大阪天王寺
大門 紀章	大阪西北

氏名	クラブ名
樋口 明彦	吹田
竹原 道幸	吹田

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2022年5・6月 ※7月2日 MyROTARYレポート確認時点)

氏名	回	クラブ名
岩崎 史郎	3	東大阪中央
湯川 泰孝	8	箕面千里中央
西脇 悟	1	箕面
片山 秀樹	3	箕面
後藤 哲男	2	大阪中央
大谷 久仁雄	2	大阪中央
河原 誠司	1	大阪北梅田

氏名	回	クラブ名
森田 雅実	1	大阪北梅田
廣田 亮彦	2	大阪北梅田
西澤 達人	2	大阪北梅田
大間知 明夫	2	大阪北梅田
塚本 英	2	大阪北梅田
青山 快玄	4	大阪北梅田
水野 哲次	4	大阪北梅田

氏名	回	クラブ名
寺岡 龍彦	7	大阪北梅田
坪内 憲治	8	大阪北梅田
妙中 茂樹	6	大阪西北
平山 直樹	4	吹田
橋本 憲治	1	高槻
西田 直弘	7	高槻

ベネファクター

次の方にベネファクターの称号が贈られました。(2022年5・6月 ※7月2日 MyROTARYレポート確認時点)

氏名	クラブ名
森原 正樹	大東中央
和田 光博	大阪東南

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2022年5・6月)

氏名	回	クラブ名
豊田 修一	1	池田
奥村 勝彦	1	池田
明石 巧	5	池田
片山 秀樹	3	箕面
横山 守雄	11	大阪中央
大澤 一雅	1	大阪中央
江本 出夫	1	大阪中央
堀内 智子	1	大阪中央
川上 克己	2	大阪中央
中嶋 茂夫	2	大阪中央
宮本 里恵	4	大阪中央
石黒 重三	7	大阪中央
手島 勝	1	大阪北梅田
戸谷 太郎	2	大阪北梅田
塚本 英	2	大阪北梅田
大間知 明夫	2	大阪北梅田
坪内 憲治	6	大阪北梅田
長谷川 誠太郎	8	大阪北梅田

氏名	回	クラブ名
松本 進也	40	大阪北
畑田 耕一	3	豊中
小西 康仁	3	豊中千里
藤田 芳浩	10	千里メイプル
山本 雅之	4	千里メイプル
西村 哲郎	2	吹田
河内 幸枝	8	吹田
上本 博	8	吹田
紙谷 正行	8	吹田
浜田 厚男	1	高槻
西田 直弘	9	高槻
浅井 勝彌	5	香里園
辰野 久夫	7	大阪東
柳瀬 寛之	4	大阪城東
辻谷 弘	4	大阪城東
大道 一弘	4	大阪城東
井土 賢一	4	大阪城東
有山 茂	4	大阪城東

氏名	回	クラブ名
川中 義裕	5	大阪城東
清水 正憲	6	大阪鶴見
百済 洋一	13	東大阪中央
近藤 力	16	東大阪中央
尾崎 元	2	東大阪中央
岩崎 史郎	5	東大阪中央
藤原 英夫	8	東大阪中央
杉森 隆志	3	東大阪みどり
田中 隆弥	18	大阪ネクスト
嘉納 治郎右衛門	1	大阪
尾崎 敬則	5	大阪城南
山口 寛	6	大阪城南
早瀬 道圓	104	大阪中之島
片山 一歩	4	大阪帝塚山
泉 博朗	4	大阪帝塚山
田邊 千尋	4	大阪帝塚山
渡邊 純一	5	大阪帝塚山
片上 淑子	8	大阪帝塚山

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2022年5・6月)

クラブ名	回数
箕面RC	32
大阪北RC	115

2021-22年度 ロータリー財団 年次基金 寄付状況

クラブ名	7月期初の会員数	クラブ平均	年次寄付	ベネファクター
大阪西北	28	\$636	\$17,816	1
大阪リバーサイド	30	\$428	\$12,848	
大阪ユニバーサルシティ	38	\$411	\$15,622	1
大阪大淀	35	\$404	\$14,137	
茨木西	28	\$397	\$11,106	
豊中千里	35	\$334	\$11,702	
大阪中央	57	\$324	\$18,464	1
大阪東	125	\$302	\$37,785	1
大阪そねざき	32	\$296	\$9,483	
大阪アーバン	28	\$291	\$8,159	
東大阪	69	\$279	\$19,242	1
大阪城東	34	\$278	\$9,457	1
八尾中央	11	\$255	\$2,805	
枚方	47	\$251	\$11,804	1
大阪中之島	33	\$250	\$8,244	
東大阪中央	19	\$236	\$4,492	
大阪南	175	\$232	\$40,666	1
交野	38	\$230	\$8,746	
大阪堂島	40	\$229	\$9,160	
大阪大手前	24	\$221	\$5,314	1
高槻	47	\$221	\$10,396	1
豊中	37	\$219	\$8,085	1
大阪心斎橋	39	\$213	\$8,295	1
大阪西南	101	\$211	\$21,269	1
茨木	29	\$208	\$6,045	1
大阪	240	\$205	\$49,267	2
大阪うつぼ	39	\$201	\$7,850	
大阪鶴見	28	\$201	\$5,628	1
大阪西	107	\$201	\$21,496	1
箕面	27	\$200	\$5,400	
大阪淀川	18	\$199	\$3,582	
大阪柏原	25	\$199	\$4,973	
千里	26	\$199	\$5,169	
茨木東	30	\$195	\$5,850	
吹田西	43	\$192	\$8,266	3
大阪城北	52	\$192	\$9,966	1
大阪平野	53	\$191	\$10,135	
大阪船場	38	\$191	\$7,245	
大阪東南	33	\$189	\$6,246	1
大阪北	190	\$187	\$35,611	1

クラブ名	7月期初の会員数	クラブ平均	年次寄付	ベネファクター
守口イブニング	23	\$186	\$4,270	1
大阪北梅田	57	\$185	\$10,542	
くずは	80	\$184	\$14,711	1
大阪天王寺	47	\$182	\$8,539	1
池田	28	\$180	\$5,037	
大阪難波	57	\$179	\$10,200	1
大阪咲洲	19	\$173	\$3,291	
大阪梅田東	30	\$169	\$5,076	
吹田	57	\$169	\$9,640	1
大阪帝塚山	44	\$169	\$7,420	
大東	38	\$168	\$6,368	1
大阪東淀ちゃやまち	19	\$167	\$3,173	
池田くれは	30	\$167	\$5,005	
大阪御堂筋本町	46	\$164	\$7,535	1
八尾	62	\$163	\$10,101	1
大阪梅田	35	\$161	\$5,646	
高槻西	17	\$158	\$2,690	
八尾東	21	\$158	\$3,320	
高槻東	33	\$158	\$5,212	1
門真	25	\$156	\$3,896	
東大阪西	21	\$156	\$3,269	1
豊中南	23	\$155	\$3,570	1
大阪フレンド	23	\$155	\$3,560	
東大阪東	70	\$154	\$10,747	1
摂津	31	\$152	\$4,723	
箕面千里中央	19	\$151	\$2,860	
大阪天満橋	43	\$145	\$6,245	1
大東中央	28	\$139	\$3,893	1
寝屋川	34	\$118	\$4,010	1
香里園	16	\$117	\$1,878	
大阪城南	46	\$112	\$5,172	
吹田江坂	26	\$106	\$2,763	1
守口	37	\$104	\$3,840	
新大阪	29	\$99	\$2,871	
東大阪みどり	17	\$95	\$1,622	
大阪ネクスト	22	\$91	\$2,009	
千里メイプル	17	\$89	\$1,521	
大阪イブニング	13	\$65	\$850	
大阪水都	44	\$18	\$777	

7月期初	地区平均	地区年次寄付合計	ベネファクター
3,455	\$207.14	\$715,672.37	40

2022年6月30日 MyROTARYレポート確認時点

2021-22年度 ポリオ・プラス基金 寄付状況

クラブ名	7月期初の会員数	クラブ平均	ポリオ・プラス基金寄付
大阪西北	28	\$128.00	\$3,583.88
大阪中之島	33	\$126.75	\$4,182.62
大阪堂島	40	\$114.62	\$4,584.68
交野	38	\$89.95	\$3,417.92
茨木西	28	\$82.35	\$2,305.66
箕面千里中央	19	\$81.58	\$1,550.00
大阪心斎橋	39	\$79.91	\$3,116.62
大阪東南	33	\$79.47	\$2,622.44
大阪リバーサイド	30	\$79.20	\$2,375.88
八尾中央	11	\$78.50	\$863.53
大阪城北	52	\$74.89	\$3,894.42
大阪難波	57	\$71.63	\$4,082.98
大阪城東	34	\$69.12	\$2,350.00
吹田西	43	\$68.04	\$2,925.86
大阪北梅田	57	\$67.54	\$3,850.00
東大阪	69	\$66.33	\$4,576.56
大阪船場	38	\$66.32	\$2,520.00
高槻	47	\$65.95	\$3,099.80
大阪	240	\$65.01	\$15,603.51
茨木	29	\$64.06	\$1,857.72
大阪フレンド	23	\$63.96	\$1,471.05
茨木東	30	\$61.40	\$1,842.00
大阪東	125	\$60.71	\$7,588.30
大阪西	107	\$60.56	\$6,480.00
豊中	37	\$60.00	\$2,220.00
門真	25	\$59.56	\$1,489.02
枚方	47	\$59.08	\$2,776.70
大阪ユニバーサルシティ	38	\$57.89	\$2,200.00
大阪北	190	\$56.57	\$10,748.59
大阪天王寺	47	\$56.55	\$2,657.87
八尾	62	\$55.65	\$3,450.00
大阪柏原	25	\$55.20	\$1,380.00
大阪梅田	35	\$54.85	\$1,919.78
大阪淀川	18	\$54.55	\$981.90
吹田	57	\$54.55	\$3,109.35
くずは	80	\$54.38	\$4,350.00
箕面	27	\$54.34	\$1,467.13
大阪中央	57	\$53.08	\$3,025.62
寝屋川	34	\$52.94	\$1,800.00
豊中千里	35	\$52.66	\$1,843.25

クラブ名	7月期初の会員数	クラブ平均	ポリオ・プラス基金寄付
大阪大手前	24	\$52.08	\$1,250.00
摂津	31	\$51.61	\$1,600.00
大阪そねざき	32	\$51.56	\$1,650.00
東大阪東	70	\$51.43	\$3,600.00
大阪ネクスト	22	\$51.17	\$1,125.67
大阪城南	46	\$51.09	\$2,350.00
池田	28	\$50.55	\$1,415.48
大阪西南	101	\$50.50	\$5,100.00
八尾東	21	\$50.21	\$1,054.40
大阪南	175	\$50.13	\$8,773.22
大阪東淀ちゃやまち	19	\$50.02	\$950.47
池田くれは	30	\$50.00	\$1,500.00
守口イブニング	23	\$50.00	\$1,150.00
大阪帝塚山	44	\$50.00	\$2,200.00
大阪大淀	35	\$50.00	\$1,750.00
千里メイプル	17	\$50.00	\$850.00
高槻東	33	\$50.00	\$1,650.00
大阪うつば	39	\$49.91	\$1,946.33
大阪天満橋	43	\$48.40	\$2,081.10
高槻西	17	\$46.70	\$793.86
東大阪中央	19	\$45.31	\$860.94
大阪鶴見	28	\$42.86	\$1,200.00
大東	38	\$42.29	\$1,606.92
大阪平野	53	\$41.63	\$2,206.36
大東中央	28	\$41.07	\$1,150.00
大阪御堂筋本町	46	\$40.76	\$1,875.00
大阪咲洲	19	\$39.47	\$750.00
千里	26	\$38.46	\$1,000.00
大阪梅田東	30	\$35.83	\$1,075.00
東大阪西	21	\$35.59	\$747.30
吹田江坂	26	\$35.43	\$921.06
豊中南	23	\$32.42	\$745.62
新大阪	29	\$30.31	\$879.00
東大阪みどり	17	\$25.27	\$429.62
香里園	16	\$24.46	\$391.35
守口	37	\$23.35	\$864.00
大阪アーバン	28	\$17.88	\$500.75
大阪イブニング	13	\$12.47	\$162.09
大阪水都	44	\$5.68	\$250.00

7月期初	地区平均	地区年次寄付合計
3,455	\$56.89	\$196,570.18

2022年6月30日 MyROTARYレポート確認時点

2021-22年度 米山奨学会 寄付状況

クラブ名	普通寄付	特別寄付	合計	会員数 (1月1日)	寄付者数 (特別寄付)		特別 寄付者 割合	個人平均 寄付額
					個人	法人		
大阪淀川	175,000	2,607,500	2,782,500	17	18	2	105.9%	163,676
大阪中之島	134,000	3,620,000	3,754,000	34	30	0	88.2%	110,411
大阪東	765,000	5,968,000	6,733,000	130	140	0	107.7%	51,792
大阪鶴見	130,000	1,122,000	1,252,000	28	8	0	28.6%	44,714
大阪ユニバーサルシティ	187,500	1,185,000	1,372,500	37	37	0	100.0%	37,094
大阪大淀	187,500	1,176,054	1,363,554	38	26	1	68.4%	35,883
吹田西	212,500	1,290,000	1,502,500	42	43	0	102.4%	35,773
くずは	240,000	2,610,000	2,850,000	83	87	0	104.8%	34,337
吹田	282,500	1,630,000	1,912,500	56	51	0	91.1%	34,151
池田くれは	150,000	850,000	1,000,000	30	30	0	100.0%	33,333
大阪城東	170,000	960,000	1,130,000	34	32	0	94.1%	33,235
豊中千里	266,250	925,000	1,191,250	36	8	0	22.2%	33,090
大阪うつば	195,000	1,080,000	1,275,000	39	38	0	97.4%	32,692
大阪咲洲	95,000	525,000	620,000	19	17	1	89.5%	32,631
枚方	235,000	1,285,000	1,520,000	47	45	3	95.7%	32,340
大阪東淀ちややまち	90,000	450,000	540,000	17	19	0	111.8%	31,764
大阪北	1,152,000	4,905,000	6,057,000	194	77	67	39.7%	31,221
大阪堂島	405,000	804,530	1,209,530	39	37	0	94.9%	31,013
大阪東南	162,500	825,000	987,500	32	33	0	103.1%	30,859
東大阪	340,000	1,750,000	2,090,000	68	49	0	72.1%	30,735
茨木	590,000	290,000	880,000	29	15	0	51.7%	30,344
守口ブニング	115,000	575,000	690,000	23	23	0	100.0%	30,000
大阪	1,205,000	5,995,000	7,200,000	242	140	0	57.9%	29,752
大阪リバーサイド	305,000	605,000	910,000	31	26	0	83.9%	29,354
大阪天満橋	210,000	1,050,000	1,260,000	43	42	0	97.7%	29,302
大阪天王寺	235,000	1,220,000	1,455,000	50	50	0	100.0%	29,100
大阪梅田	180,000	860,000	1,040,000	37	34	0	91.9%	28,108
豊中南	120,000	530,000	650,000	24	17	0	70.8%	27,083
大阪心斎橋	200,000	905,000	1,105,000	41	43	0	104.9%	26,951
箕面	135,000	562,000	697,000	26	22	0	84.6%	26,807
大阪御堂筋本町	230,000	995,000	1,225,000	46	37	0	80.4%	26,630
大阪城南	232,500	985,000	1,217,500	46	26	0	56.5%	26,467
千里	130,000	545,000	675,000	26	20	0	76.9%	25,961
大阪南	712,000	3,958,000	4,670,000	180	133	0	73.9%	25,944
高槻東	256,000	544,000	800,000	31	32	0	103.2%	25,806
千里メイプル	85,000	346,000	431,000	17	12	0	70.6%	25,352
大阪帝塚山	220,000	895,000	1,115,000	44	37	0	84.1%	25,340
大阪城北	262,500	1,050,000	1,312,500	53	55	0	103.8%	24,764
大阪西北	132,500	480,000	612,500	25	13	0	52.0%	24,500
豊中	222,000	660,000	882,000	37	25	2	67.6%	23,837
大東中央	137,500	505,000	642,500	27	20	0	74.1%	23,796
東大阪中央	95,000	330,000	425,000	18	11	0	61.1%	23,611
交野	95,000	760,000	855,000	37	31	0	83.8%	23,108

クラブ名	普通寄付	特別寄付	合計	会員数 (1月1日)	寄付者数 (特別寄付)		特別 寄付者 割合	個人平均 寄付額
					個人	法人		
東大阪西	105,000	375,000	480,000	21	13	0	61.9%	22,857
吹田江坂	130,000	460,000	590,000	26	23	0	88.5%	22,692
東大阪みどり	85,000	300,000	385,000	17	10	0	58.8%	22,647
大阪中央	292,500	1,010,250	1,302,750	60	42	0	70.0%	21,712
大阪難波	351,000	880,000	1,231,000	58	58	0	100.0%	21,224
大阪北梅田	285,000	861,500	1,146,500	55	43	0	78.2%	20,845
摂津	160,000	502,000	662,000	32	32	0	100.0%	20,687
八尾	345,000	1,056,120	1,401,120	68	52	0	76.5%	20,604
池田	224,000	344,000	568,000	28	28	0	100.0%	20,285
大阪梅田東	150,000	452,000	602,000	30	17	0	56.7%	20,066
大阪船場	228,000	532,000	760,000	38	38	0	100.0%	20,000
大阪西南	497,500	1,445,000	1,942,500	98	62	0	63.3%	19,821
大阪平野	265,000	783,000	1,048,000	53	33	0	62.3%	19,773
高槻西	82,500	228,000	310,500	16	15	0	93.7%	19,406
大阪アーバン	155,000	400,000	555,000	29	10	1	34.5%	19,137
大阪ネクスト	110,000	300,000	410,000	22	1	0	4.5%	18,636
東大阪東	336,000	965,000	1,301,000	70	32	0	45.7%	18,585
大阪フレンド	105,000	268,000	373,000	21	13	0	61.9%	17,761
大東	165,000	495,000	660,000	38	33	0	86.8%	17,368
箕面千里中央	95,000	215,000	310,000	18	13	0	72.2%	17,222
大阪西	547,500	1,260,000	1,807,500	107	29	3	27.1%	16,892
大阪大手前	150,000	220,000	370,000	22	22	0	100.0%	16,818
茨木西	137,500	280,000	417,500	27	28	0	103.7%	15,462
香里園	64,000	177,000	241,000	16	15	0	93.7%	15,062
八尾東	105,000	188,500	293,500	21	20	1	95.2%	13,976
大阪柏原	127,500	220,000	347,500	26	20	0	76.9%	13,365
守口	185,000	287,000	472,000	36	9	0	25.0%	13,111
高槻	235,000	365,000	600,000	47	20	0	42.6%	12,765
茨木東	147,500	211,000	358,500	29	22	1	75.9%	12,362
大阪そねざき	163,000	216,000	379,000	33	34	0	103.0%	11,484
門真	130,000	130,000	260,000	26	26	0	100.0%	10,000
大阪イブニング	65,000	50,000	115,000	13	5	0	38.5%	8,846
新大阪	147,500	72,000	219,500	30	15	0	50.0%	7,316
寝屋川	180,000	0	180,000	36	0	0	0.0%	5,000
八尾中央	55,000	0	55,000	11	0	0	0.0%	5,000
大阪水都	80,000	24,000	104,000	38	2	0	5.3%	2,736

総計	18,365,750	75,785,454	94,151,204	3,469	2,524	82	72.8%	27,140
----	------------	------------	------------	-------	-------	----	-------	--------

2022年6月現在

2022年5月度 会員数報告

I-M組	クラブ名	7月期 初会員数	5月末会員数		入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減	例 会 数
			全員	女性				
I-M第1組	池田	28	28	3	0	0	0	3
	池田くれは	30	30	5	0	0	0	3
	箕面	27	29	4	4	2	2	3
	箕面千里中央	19	20	4	2	1	1	3
	大阪水都	44	43	7	7	8	-1	2
	大阪中央 (内、ミレニアルズ衛星)	57	60 (11)	12 (5)	6	3	3	3
	大阪北梅田	57	56	5	0	1	-1	4
	大阪北	190	200	0	20	10	10	3
	大阪大淀	35	41	0	6	0	6	3
	大阪そねざき	32	35	16	3	0	3	3
	大阪梅田	35	37	9	2	0	2	4
	大阪梅田東	30	30	0	1	1	0	3
	豊中	37	36	2	2	3	-1	3
	豊中千里	35	37	6	3	1	2	3
豊中南	23	26	2	3	0	3	3	
小計	679	708	75	59	30	29		
I-M第2組	茨木	29	28	3	1	2	-1	3
	茨木東	30	28	5	0	2	-2	3
	茨木西	28	25	4	0	3	-3	3
	大阪東淀ちゃやまち	19	17	1	0	2	-2	4
	大阪淀川	18	17	5	0	1	-1	3
	千里	26	24	2	0	2	-2	4
	千里メイプル	17	17	3	0	0	0	3
	摂津	31	32	2	1	0	1	3
	新大阪	29	32	1	4	1	3	3
	吹田	57	57	9	2	2	0	3
	吹田江坂	26	26	2	0	0	0	3
	吹田西	43	42	0	0	1	-1	4
	高槻	47	46	7	4	5	-1	3
	高槻東	33	31	1	0	2	-2	3
高槻西	17	16	0	0	1	-1	3	
小計	450	438	45	12	24	-12		
I-M第3組	大東	38	37	0	0	1	-1	4
	大東中央	28	26	13	0	2	-2	3
	枚方	47	47	5	1	1	0	3
	門真	25	26	5	2	1	1	3
	交野	38	37	1	0	1	-1	2
	香里園	16	16	0	0	0	0	3
	くずは	80	85	4	7	2	5	3
	守口	37	35	5	0	2	-2	3
	守口イブニング	23	23	5	0	0	0	3
	寝屋川	34	36	4	2	0	2	3
	大阪東	125	136	7	14	3	11	3
	大阪城東	34	34	8	0	0	0	3
	大阪城北	52	55	5	4	1	3	2
	大阪鶴見	28	28	2	0	0	0	4
小計	605	621	64	30	14	16		

I-M組	クラブ名	7月期 初会員数	5月末会員数		入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減	例 会 数	
			全員	女性					
I-M第4組	東大阪	69	71	1	4	2	2	4	
	東大阪東 (内、フューチャー衛星)	70	70 (13)	6 (2)	2	2	0	3	
	東大阪西	21	21	0	1	1	0	2	
	東大阪中央	19	18	2	0	1	-1	3	
	東大阪みどり	17	17	0	0	0	0	2	
	大阪柏原	25	26	3	1	0	1	3	
	大阪御堂筋本町	46	47	2	1	0	1	3	
	大阪難波	57	62	0	8	3	5	3	
	大阪ネクスト	22	22	7	0	0	0	3	
	大阪南 (内、なみはや衛星)	175	182 (9)	12 (0)	10	3	7	4	
	八尾	62	67	0	8	3	5	3	
	八尾中央	11	11	0	0	0	0	2	
	八尾東	21	21	0	0	0	0	3	
	小計	615	635	33	35	15	20		
I-M第5組	大阪堂島	40	41	6	3	2	1	2	
	大阪フレンド	23	21	5	0	2	-2	2	
	大阪西北	28	26	0	1	3	-2	3	
	大阪リバーサイド	30	32	5	3	1	2	3	
	大阪船場	38	39	6	3	2	1	4	
	大阪心斎橋	39	43	2	4	0	4	3	
	大阪西南	101	96	22	1	6	-5	3	
	大阪ユニバーサルシティ	38	39	6	4	3	1	3	
	大阪アーバン	28	30	1	3	1	2	3	
	大阪うつぼ	39	38	5	1	2	-1	4	
	大阪西	107	102	3	4	9	-5	4	
	小計	511	507	61	27	31	-4		
	I-M第6組	大阪	240	236	1	22	26	-4	3
		大阪イブニング	13	13	3	0	0	0	3
大阪平野		53	52	5	1	2	-1	3	
大阪城南		46	46	0	1	1	0	4	
大阪中之島		33	36	2	4	1	3	2	
大阪大手前		24	22	2	1	3	-2	3	
大阪咲洲		19	19	0	0	0	0	2	
大阪東南		33	32	5	1	2	-1	4	
大阪天満橋		43	43	0	0	0	0	3	
大阪天王寺		47	49	1	4	2	2	4	
大阪帝塚山		44	43	4	0	1	-1	3	
小計		595	591	23	34	38	-4		

合計	クラブ数	7月期 初会員数	月末 会員	女性	入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減
	79	3,455	3,500	301	197	152	45

※()内は衛星クラブの会員数

2022年6月度 会員数報告

I-M組	クラブ名	7月期 初会員数	6月末会員数		入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減	例 会 数
			全員	女性				
I-M第1組	池田	28	28	3	0	0	0	3
	池田くれは	30	30	5	0	0	0	3
	箕面	27	30	4	5	2	3	4
	箕面千里中央	19	19	4	2	2	0	3
	大阪水都	44	41	7	7	10	-3	2
	大阪中央 (内、ミレニアルズ衛星)	57	61 (11)	12 (5)	7	3	4	4
	大阪北梅田	57	53	3	1	5	-4	4
	大阪北	190	203	0	28	15	13	4
	大阪大淀	35	39	0	6	2	4	4
	大阪そねざき	32	35	16	3	0	3	3
	大阪梅田	35	35	9	2	2	0	3
	大阪梅田東	30	28	0	1	3	-2	4
	豊中	37	36	2	2	3	-1	4
	豊中千里	35	37	6	3	1	2	4
豊中南	23	25	3	3	1	2	3	
小計	679	700	74	70	49	21		
I-M第2組	茨木	29	29	3	3	3	0	4
	茨木東	30	26	5	0	4	-4	5
	茨木西	28	25	4	0	3	-3	4
	大阪東淀ちゃやまち	19	17	1	0	2	-2	3
	大阪淀川	18	17	5	0	1	-1	3
	千里	26	24	2	0	2	-2	4
	千里メイプル	17	17	3	0	0	0	4
	摂津	31	32	2	1	0	1	3
	新大阪	29	31	1	4	2	2	3
	吹田	57	55	9	2	4	-2	4
	吹田江坂	26	25	2	0	1	-1	4
	吹田西	43	40	0	0	3	-3	3
	高槻	47	42	6	4	9	-5	4
	高槻東	33	33	1	2	2	0	3
高槻西	17	16	0	0	1	-1	4	
小計	450	429	44	16	37	-21		
I-M第3組	大東	38	37	0	0	1	-1	3
	大東中央	28	25	11	1	4	-3	3
	枚方	47	47	5	1	1	0	4
	門真	25	20	4	2	7	-5	4
	交野	38	36	1	0	2	-2	4
	香里園	16	15	0	0	1	-1	3
	くずは	80	85	4	8	3	5	3
	守口	37	35	5	0	2	-2	0
	守口イブニング	23	23	5	0	0	0	3
	寝屋川	34	35	3	2	1	1	4
	大阪東	125	134	7	14	5	9	5
	大阪城東	34	33	8	0	1	-1	4
	大阪城北	52	52	5	4	4	0	4
	大阪鶴見	28	25	1	0	3	-3	4
小計	605	602	59	32	35	-3		

I-M組	クラブ名	7月期 初会員数	6月末会員数		入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減	例 会 数	
			全員	女性					
I-M第4組	東大阪	69	66	1	4	7	-3	4	
	東大阪東 (内、フューチャー衛星)	70	69 (13)	6 (2)	2	3	-1	4	
	東大阪西	21	21	0	1	1	0	2	
	東大阪中央	19	17	2	0	2	-2	3	
	東大阪みどり	17	17	0	0	0	0	4	
	大阪柏原	25	26	3	1	0	1	3	
	大阪御堂筋本町	46	47	2	1	0	1	4	
	大阪難波	57	61	0	8	4	4	4	
	大阪ネクスト	22	22	7	1	1	0	2	
	大阪南 (内、なみはや衛星)	175	176 (9)	12 (0)	11	10	1	3	
	八尾	62	60	0	8	10	-2	5	
	八尾中央	11	11	0	0	0	0	2	
	八尾東	21	21	0	0	0	0	3	
	小計	615	614	33	37	38	-1		
I-M第5組	大阪堂島	40	40	6	3	3	0	2	
	大阪フレンド	23	21	5	0	2	-2	2	
	大阪西北	28	25	0	1	4	-3	3	
	大阪リバーサイド	30	31	4	3	2	1	4	
	大阪船場	38	38	6	3	3	0	3	
	大阪心斎橋	39	41	2	4	2	2	4	
	大阪西南	101	93	22	4	12	-8	5	
	大阪ユニバーサルシティ	38	39	6	4	3	1	4	
	大阪アーバン	28	29	2	4	3	1	4	
	大阪うつぼ	39	37	5	1	3	-2	2	
	大阪西	107	100	3	5	12	-7	3	
	小計	511	494	61	32	49	-17		
	I-M第6組	大阪	240	230	2	25	35	-10	4
		大阪イブニング	13	13	3	0	0	0	4
大阪平野		53	51	5	1	3	-2	4	
大阪城南		46	43	0	1	4	-3	4	
大阪中之島		33	35	2	4	2	2	4	
大阪大手前		24	21	2	1	4	-3	4	
大阪咲洲		19	19	0	0	0	0	5	
大阪東南		33	31	5	1	3	-2	4	
大阪天満橋		43	42	0	0	1	-1	4	
大阪天王寺		47	46	1	4	5	-1	4	
大阪帝塚山		44	44	4	1	1	0	5	
小計		595	575	24	38	58	-20		

合計	クラブ数	7月期 初会員数	月末 会員	女性	入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減
	79	3,455	3,414	295	225	266	-41

※()内は衛星クラブの会員数

2021-22年 地区大会 収支報告

開催日時	2021年12月3日(金) 13:00～17:30
場 所	大阪国際会議場5階特別ホール及びYouTube配信

収入の部

科 目	内 訳	収入額	備 考
地区大会資金	地区賦課金	17,595,000	5,000円×3,519名
登録料	ホストクラブ	17,445,000	5,000円×3,489名(10/1 会員数)
	当年度収入合計	35,040,000	
	前年度繰越金	15,344,628	
	収入合計	50,384,628	

支出の部

科 目	内 訳	収入額	備 考
本会議	進行制作費	1,300,000	電通
	設営費	2,553,000	電通、三芳園
	謝礼	150,000	特別講演
	小計	4,003,000	
会場関連費		2,912,331	大阪国際会議場5階利用料及び付帯設備費
特別コンサート		1,878,730	大阪交響楽団(オンライン配信用著作権隣接権含む)
来賓接待		445,425	コーヒーサービス等
広報・記録	映像関連	1,350,000	電通
	記録収録映像	750,000	電通
	配信関連費	390,000	電通
	小計	2,490,000	
総務	印刷費	1,623,818	PRチラシ及びプログラム
	制作管理費	1,662,532	電通
	会合費	496,220	リーガロイヤル
	ガバナー事務所	2,045,012	人件費及び配送料
	雑費	30,000	保険料
	小計	5,857,582	
	当年度支出合計	17,587,068	
	当年度収支差額	17,452,932	
	次年度繰越金	32,797,560	特別会計地区大会資金へ戻入
	支出合計	50,384,628	

以上の通り相違ありません。

2022年2月10日

国際ロータリー第2660地区 2021-22年度地区大会実行委員会

大会委員長 水野 明人

大会幹事 黒田 雅史

大阪RC会長 鳥井 信吾

大会会計 岡島 正幸

監査報告

2021-22年度地区大会実行委員会より提出のあった収支報告について、関係帳簿類と照合監査の結果、正確かつ適正であることを認めます。

2022年2月10日

会計監査 新開 隆浩(大阪南RC)

2021-22年度 国際ロータリー第2660地区 地区資金決算 (2021年7月1日~2022年6月30日)

地区運営資金

(単位:円)

【収入の部】	科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
	1. 地区資金	35,500,000	34,925,000	△575,000	補足①参照
	2. RI補助金	1,162,408	1,162,408	0	
	3. 人件費分担金	3,000,000	3,000,000	0	
	4. 受取利息	0	701	701	
	5. 雑収入	0	237,150	237,150	補足②参照
	収入合計	39,662,408	39,325,259	△337,149	

(単位:円)

【支出の部】	科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
	A. 負担金				
	1. ガバナー会	710,000	692,400	△17,600	前期3455名 後期3469名 @100円
	2. ロータリー文庫	1,065,000	692,400	△372,600	前期3455名 後期3469名 @100円
	3. 平和奨学生支援協力金	53,250	52,035	△1,215	3469名@15円
	小 計	1,828,250	1,436,835	△391,415	
	B. 会議費				
	1. PETS・地区チーム研修セミナー	1,200,000	1,429,444	229,444	
	2. 合同地区委員会	0	0	0	
	3. G補佐・地区幹事会	20,000	0	△20,000	
	4. GE国際協議会	365,000	0	△365,000	
	5. 予備費	149,158	0	△149,158	
	小 計	1,734,158	1,429,444	△304,714	
	C. ガバナー関係費				
	1. ガバナー事務所経費	33,980,000	31,452,841	△2,527,159	内訳別掲
	2. ガバナー月信費	2,000,000	2,139,500	139,500	
	3. ガバナー補佐経費	20,000	0	△20,000	
	4. 直前DG記念品	100,000	100,000	0	
	小 計	36,100,000	33,692,341	△2,407,659	
	D. 地区基金への繰入金	0	0	0	
	E. 総予備費	1,500,000	0	△1,500,000	
	支出合計	41,162,408	36,558,620	△4,603,788	
	収支差額	△1,500,000	2,766,639	4,266,639	
	前年度繰越金	7,083,241	10,395,045	3,311,804	
	F. 大阪のロータリー100周年及び大阪・関西万博積立金繰入額	0	0	0	
	G. 災害支援積立金繰入額	0	0	0	
	H. 地区基金繰入額	0	0	0	
	次年度繰越金	5,583,241	13,161,684	7,578,443	

ガバナー事務所経費

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
1. 家賃・光熱費	4,500,000	4,356,152	△143,848	
2. 給料・手当	20,500,000	18,313,106	△2,186,894	
3. 厚生費	2,830,000	2,719,542	△110,458	
4. コンピューター関係費用	1,000,000	1,207,669	207,669	
5. DG・DGE交通会合費	700,000	611,201	△88,799	
6. 印刷費	1,000,000	961,623	△38,377	
7. 交通通信費	2,000,000	2,268,384	268,384	
8. 文献費	100,000	14,768	△85,232	
9. 事務用品費	600,000	462,491	△137,509	
10. 什器備品費	200,000	1,699	△198,301	
11. 雑費	500,000	530,406	30,406	
12. 予備費	50,000	5,800	△44,200	
合 計	33,980,000	31,452,841	△2,527,159	

地区活動資金

(単位:円)

【収入の部】

科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
1. 地区資金	24,850,000	24,447,500	△402,500	補足①参照
2. 地区活動資金繰戻	0	569,100	569,100	補足③参照
3. RI規定審議会派遣積立金戻入	0	0	0	
4. 地区活動資金雑収入	0	8,400	8,400	補足④参照
収入合計	24,850,000	25,025,000	175,000	

(単位:円)

【支出の部】

科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
A. 地区委員会活動費				
1. DG指名(委)	0	0	0	
2. 意義ある奉仕賞(委)	0	0	0	
3. クラブ奉仕部門				
クラブ奉仕・拡大増強(委)	300,000	256,910	△43,090	
公共イメージ向上(委)	400,000	197,611	△202,389	
4. 職業奉仕部門				
職業奉仕(委)	300,000	287,300	△12,700	
5. 社会奉仕・国際奉仕部門				
社会奉仕(委)	300,000	256,025	△43,975	
国際奉仕(委)	200,000	252,565	52,565	
6. 青少年奉仕部門				
青少年奉仕統括(委)	250,000	0	△250,000	
RYLA(委)	4,200,000	4,347,337	147,337	
ローターアクト(委)	3,291,500	1,802,408	△1,489,092	
インターアクト(委)	3,650,000	410,978	△3,239,022	
青少年交換(委)	1,600,000	573,036	△1,026,964	
7. ロータリー財団部門				
ロータリー財団(委)	500,000	471,200	△28,800	
8. 米山奨学部門				
米山奨学(委)	350,000	295,665	△54,335	
9. ロータリー学友委員会	450,000	355,384	△94,616	
10. 危機管理委員会	100,000	80,000	△20,000	
11. 研修委員会	200,000	19,600	△180,400	
12. 規定審議・ビジョン策定委員会	0	373,420	373,420	
13. 100周年・万博企画検討委員会	2,150,000	2,824,250	674,250	
14. RI規定審議会派遣積立金	400,000	400,000	0	
15. RIJYEM維持協力金	710,000	692,400	△17,600	
16. 危機管理積立金	0	0	0	
17. 予備費	1,298,500		△1,298,500	
小 計	20,650,000	13,896,089	△6,753,911	
B. RI会長DG協調事業費	1,500,000	0	△1,500,000	
C. 賠償責任保険	300,000	261,100	△38,900	
D. IMロータリーデー補助金	2,400,000	1,923,377	△476,623	
E. 地区基金への繰入金	0	0	0	
F. 地区大会友愛の広場補助金	0	0	0	
G. 青少年活動助成金				
1. ロータリー学友会活動助成金	0	0	0	
2. ROTEX活動助成金	0	0	0	
3. ローターアクト活動助成金	0	0	0	
4. チームRYLA活動助成金	0	0	0	
H. 地区ロータリーデー開催費	0	0	0	
支出合計	24,850,000	16,080,566	△8,769,434	
収支差額	0	8,944,434	8,944,434	
前年度繰越金	12,189,584	14,536,568	2,346,984	
I. 危機管理積立金繰入額	0	0	0	
J. 大阪のロータリー100周年及び大阪・関西万博積立金繰入額	5,000,000	5,000,000	0	
K. 災害支援積立金繰入額	0	5,000,000	5,000,000	
L. 地区基金繰入額	0	0	0	
M. 地区活動資金積立金繰入額	0	0	0	
次年度繰越金	7,189,584	13,481,002	6,291,418	

特別会計

1. 地区大会資金

(単位:円)

【収入の部】

科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
地区資金	17,750,000	17,595,000	△155,000	
地区大会会計より戻入	4,366,404	15,344,628	10,978,224	
収入合計	22,116,404	32,939,628	10,823,224	

(単位:円)

【支出の部】

科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
地区大会会計へ繰入	22,116,404	15,486,696	△6,629,708	
支出合計	22,116,404	15,486,696	△6,629,708	
収支差額	0	17,452,932	17,452,932	
前年度繰越金	4,366,404	15,344,628	10,978,224	
次年度繰越金	4,366,404	32,797,560	28,431,156	

※この特別会計は地区大会会計(独立会計)とは別物です。

※この特別会計の役割は大会資金の繰入・戻入と地区大会会計残余金の繰越です。

2. (参考情報)米山奨学生活動費 (米山奨学会への報告を基に記載)

米山奨学委員会 委員長：末松 大幸

(単位:円)

【収入の部】

科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
地区奨学生活動費		2,020,000		
学校説明会補助費		100,000		
選考会補助費		592,500		
カウンセラー研修会補助金		166,177		
海外応募者補助費				
レクリエーション登録料	2,800,000		78,693	
米山記念館訪問費				
米山奨学歓送会登録料				
オリエンテーション登録費				
地区活動費から補助				
受取利息		16		
収入合計	2,800,000	2,878,693	78,693	

(単位:円)

【支出の部】

科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
レクリエーション				
春の交流会		207,000		
大学との意見交換会		0		
選考会		347,367		
終了式		979,434		
奨学生オリエンテーション	2,800,000	358,410	△483,769	
カウンセラー研修会		0		
米山学友会活動費(交流研修)		166,088		
ロータリー勉強会		16,566		
海外応募者補助費		0		
その他		241,366		
支出合計	2,800,000	2,316,231	△483,769	
収支差額	0	0	0	
前年度繰越金	0	0	0	
次年度繰越金	0	0	0	

3. RI規定審議会派遣積立金

(単位:円)

【収入の部】	科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
	R I 規定審議会派遣積立金繰入額	400,000	400,000	0	
	収入合計	400,000	400,000	0	

(単位:円)

【支出の部】	科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
	R I 規定審議会派遣費用	1,000,000	0	△1,000,000	
	規定審議会会議費	0	0	0	
	支出合計	1,000,000	0	△1,000,000	
	収支差額	△600,000	400,000	1,000,000	
	前年度繰越金	600,000	600,000	0	
	次年度繰越金	0	1,000,000	1,000,000	

4. 危機管理積立金

(単位:円)

【収入の部】	科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
	危機管理積立金繰入額	0	0	0	
	収入合計	0	0	0	

(単位:円)

【支出の部】	科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
	危機管理積立金支出額	0	0	0	
	支出合計	0	0	0	
	収支差額	0	0	0	
	前年度繰越金	20,000,000	20,000,000	0	
	次年度繰越金	20,000,000	20,000,000	0	

5. 地区基金

(単位:円)

【収入の部】	科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
	地区基金繰入額	0	0	0	
	収入合計	0	0	0	

(単位:円)

【支出の部】	科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
	地区基金支出額	0	0	0	
	支出合計	0	0	0	
	収支差額	0	0	0	
	前年度繰越金	30,000,000	30,000,000	0	
	次年度繰越金	30,000,000	30,000,000	0	

6. 大阪のロータリー100周年及び大阪・関西万博積立金

(単位:円)

【収入の部】	科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
	大阪のロータリー100周年及び大阪・関西万博積立金繰入額	5,000,000	5,000,000	0	
	収入合計	5,000,000	5,000,000	0	

(単位:円)

【支出の部】	科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
	大阪のロータリー100周年及び大阪・関西万博積立金支出額	0	0	0	
	支出合計	0	0	0	
	収支差額	5,000,000	5,000,000	0	
	前年度繰越金	12,000,000	20,000,000	8,000,000	
	次年度繰越金	17,000,000	25,000,000	8,000,000	

7. 災害支援積立金

(単位:円)

【収入の部】	科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
	災害支援積立金繰入額	0	5,000,000	5,000,000	
	収入合計	0	5,000,000	5,000,000	

(単位:円)

【支出の部】	科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
	災害支援積立金支出額	0	5,000,000	5,000,000	
	支出合計	0	5,000,000	5,000,000	
	収支差額	0	0	0	
	前年度繰越金	18,104,461	20,000,000	1,895,539	
	次年度繰越金	18,104,461	20,000,000	1,895,539	

8. 地区活動資金積立金

(単位:円)

【収入の部】	科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
	地区活動資金積立金繰入額	0	0	0	
	収入合計	0	0	0	

(単位:円)

【支出の部】	科 目	予 算	決 算	差 額	備 考
	地区活動資金積立金支出額	0	0	0	
	支出合計	0	0	0	
	収支差額	0	0	0	
	前年度繰越金	5,000,000	5,000,000	0	
	次年度繰越金	5,000,000	5,000,000	0	

監査報告

私は、国際ロータリー第2660地区の2021-2022年度 地区運営資金、地区活動資金および特別会計について監査した結果、適正であることを確認いたしました。

2022年8月19日

会計監査 高谷 晋介

「地区中期5ヶ年目標」総括

国際ロータリー第2660地区 ガバナー **吉川 秀隆**
(大阪RC)

2018年4月7日に開催された地区研修・協議会で発表された地区ビジョンと同時に地区中期5ヶ年目標が掲げられました。私の年度までの5年間で以下の目標達成を目指しましょう、というものでした。

(発表当時)

1. クラブのサポートと強化

- 各クラブが将来のビジョンを持つように推奨します。
- クラブ会員基盤を強化します。
- 会員規模については地区で4,000名(純増82名×5ヶ年)を目指します。
年齢・男女構成等の中期計画をもとに、会員維持、会員増強、クラブ拡大を支援します。

2. 人道的奉仕の重点化と増加

- ニーズを把握し人々と共に手をつなぎ、成果の持続可能な奉仕を強化します。
- 財団補助金の利用実績50件を目指します。
- ロータリー財団及び米山記念奨学会への寄付を推進し、寄付ゼロクラブが無くなることを目指します。

3. 公共イメージと認知度の向上

- ロータリーの奉仕活動によって感動と誇りを得、その魅力を周りの人々に伝えます。
- 地域社会に開かれたロータリー活動を実施し公共イメージ向上を推進します。
- IT化の推進をはかり、マイロータリーの登録率65%、クラブセントラルの活用率75%を目指します。

その後、何度か数値目標の改定を経て、私の年度開始時点では次のような目標でスタートしました。
(赤字部分は当初からの改定部分)

(2021-22年度開始時点)

1. クラブのサポートと強化

- 各クラブが将来のビジョンを持つように推奨します。
- クラブ会員基盤を強化します。
- 会員規模については**毎年度少なくとも各クラブでの純増1名**を目指します。
年齢・男女構成等の中期計画をもとに、会員維持、会員増強、クラブ拡大を支援します。

2. 人道的奉仕の重点化と増加

- ニーズを把握し人々と共に手をつなぎ、成果の持続可能な奉仕を強化します。
- 財団補助金の**一層の利用促進**を目指します。
- ロータリー財団及び米山記念奨学会への寄付を推進し、寄付ゼロクラブが無くなることを目指します。

3. 公共イメージと認知度の向上

- ロータリーの奉仕活動によって感動と誇りを得、その魅力を周りの人々に伝えます。
- 地域社会に開かれたロータリー活動を実施し公共イメージ向上を推進します。
- IT化の推進をはかり、マイロータリーの登録率**80%**、クラブセントラルの活用率**90%**を目指します。

昨年12月の地区大会で年度別の進捗状況についてご報告しましたが、数値目標を掲げた内容については達成できた年や項目もあれば、年度途中で目標のハードルを上げた項目もありました。全ての内容を達成できることが最善であることに間違いはないのですが、「目標が達成されてしまえば終わり」ということではダメだと思います。

日光東照宮の陽明門には12本の柱があり、「グリ紋」という紋様が施されていますが、そのうちの1本は敢えて逆さまになっています。「満つれば欠ける」ということわざを模したとも言われていますが、敢えて完成させず、常に完成を目指し続けるという考え方は我々ロータリーが将来に渡って発展し続けるためには見習うべき考え方の一つかもしれません。

宮里DG年度からは新たな地区ビジョンと地区中期3ヶ年目標が掲げられました。その時々々の世情に合わせて目標を見直し、PDCAを回していくことは組織の活性化や維持・向上のためには必要不可欠だと思います。これからも地区内のロータリアンの皆様が一丸となって、目標に取り組んで行かれることを切に願っています。

◆地区中期5カ年目標(2017-18~2021-22年度)数値目標年度別推移

1. 会員規模については毎年度少なくとも各クラブでの純増1名を目指します。

	6月末時点				
	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22
総クラブ数 (衛生クラブ数)	82 (0)	82 (1)	83 (3)	83 (3)	82 (3)
達成クラブ数	32	33	28	22	18

2. ロータリー財団及び米山記念奨学会への寄付を推進し、寄付ゼロクラブが無くなる事を目指します。

	6月末時点				
	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22
ゼロクラブ数	なし	なし	なし	1	なし

3. IT化の推進をはかり、マイロータリーの登録率80%、クラブセントラルの活用率90%を目指します。

	6月末時点				
	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22
登録率 (%)	44.7	63.4	66.1	69.1	72.4

月信編集委員会からのお願い

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAX または E-mail にてお願い致します。
折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。
原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用用紙にてお願いいたします。
専用用紙はガバナー事務所にお問合せいただくか、地区ホームページからもダウンロードいただけます。

2021-22年度 国際ロータリー 第2660地区 ガバナー事務所のご案内

事務所スタッフ

ガバナー 吉川 秀隆 事務所長 五味 千秋
地区代表幹事 早嶋 茂
地区副代表幹事 生駒 伸夫
井戸 剛

所在地

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660 FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

ホームページ

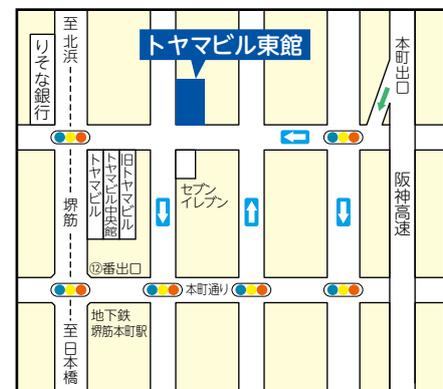
<https://www.ri2660.gr.jp/>

勤務時間

9:30~18:00

休日

土曜、日曜、祝日
夏季休暇 8/11~15
冬季休暇 12/29~1/4



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております(最多36名)。詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

月信編集委員会

- ガバナー 吉川 秀隆 (大阪RC)
- 地区代表幹事 早嶋 茂 (大阪RC)
- 地区副代表幹事 (月信担当) 井戸 剛 (大阪RC)
- 地区副代表幹事 生駒 伸夫 (大阪RC)
- 地区常任幹事 奥田 吾朗 (大阪RC)
- 地区常任幹事 小泉 祐助 (大阪RC)



国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan
TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp